2013年5月新規

取付設置説明書

ベステ・NBシリーズ

■ 取付設置される方へ

・この取付設置説明書の記載内容を外れた設置が原因で生じた故障および不具合は、保証期間内であっても保証の対象となりません。
・取付設置が終わったら システムキッチンチェックリストに沿って確認してください。
・取付設置終了後、取扱説明書（保証書付）の保証書に必要事項を記入し、必ずお客様に渡してください。
・取付設置に伴って、石綿を含有する建材を使用した建築物等の解体等の作業が発生する場合は、石綿障害予防規則に基づき、必要な措置を講じてください。
・取付設置で発生した廃棄物は、廃棄物処理法などの法令に従って処理をおこなってください。

1 安全上のご注意

※取付設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
※表示内容を無視して誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

⚠ 警告

必ずおこなう
※電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令、規程にしたがって、必ず「有資格者」がおこなう。
火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

※アッパーキャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて、正しくおこなう。
キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。

禁止
※キャビネットの改造はしない。
改造して取り付けると強度がおちてキャビネットが落下してけがをするおそれがあります。

※機器類の分解・修理・改造はしない。
火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

必ずおこなう
※コンロ・オーブンを設置する時は必ず元栓を取り付ける。
元栓がないと、ガス漏れによる火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

必ずおこなう
※トールキャビネットおよび壁固定キャビネットは、必ず壁面に固定する。
落下して、けがをするおそれがあります。

※棚板を取り付ける時は、棚受けダボをすき間のないよう、根元まで確実に差し込む。
棚板が外れ、収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

※ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をする。
切断面にさわると、けがをするおそれがあります。

※排水金具・排水ホースの取り付けおよび給排水管のシールは、確実におこなう。
水が漏れたり、湿気が上がって床などが腐るおそれがあります。

必ずおこなう
※組み込まれる電気機器、水栓などは、同梱の説明書の表示事項を守り、正しく設置する。
誤った設置をすると、事故や故障の原因になることがあります。

※取付設置完了後は、扉のがたつき、蝶番のゆるみのないことを確認する。
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

※レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材を使用して可燃物を覆う必要があります。
レンジフードに同梱の取付説明書の内容と併せて確認する。

禁止
※排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けない。
排水能力が低下し、シンクから水があふれて床を汚すおそれがあります。

SGB800P C

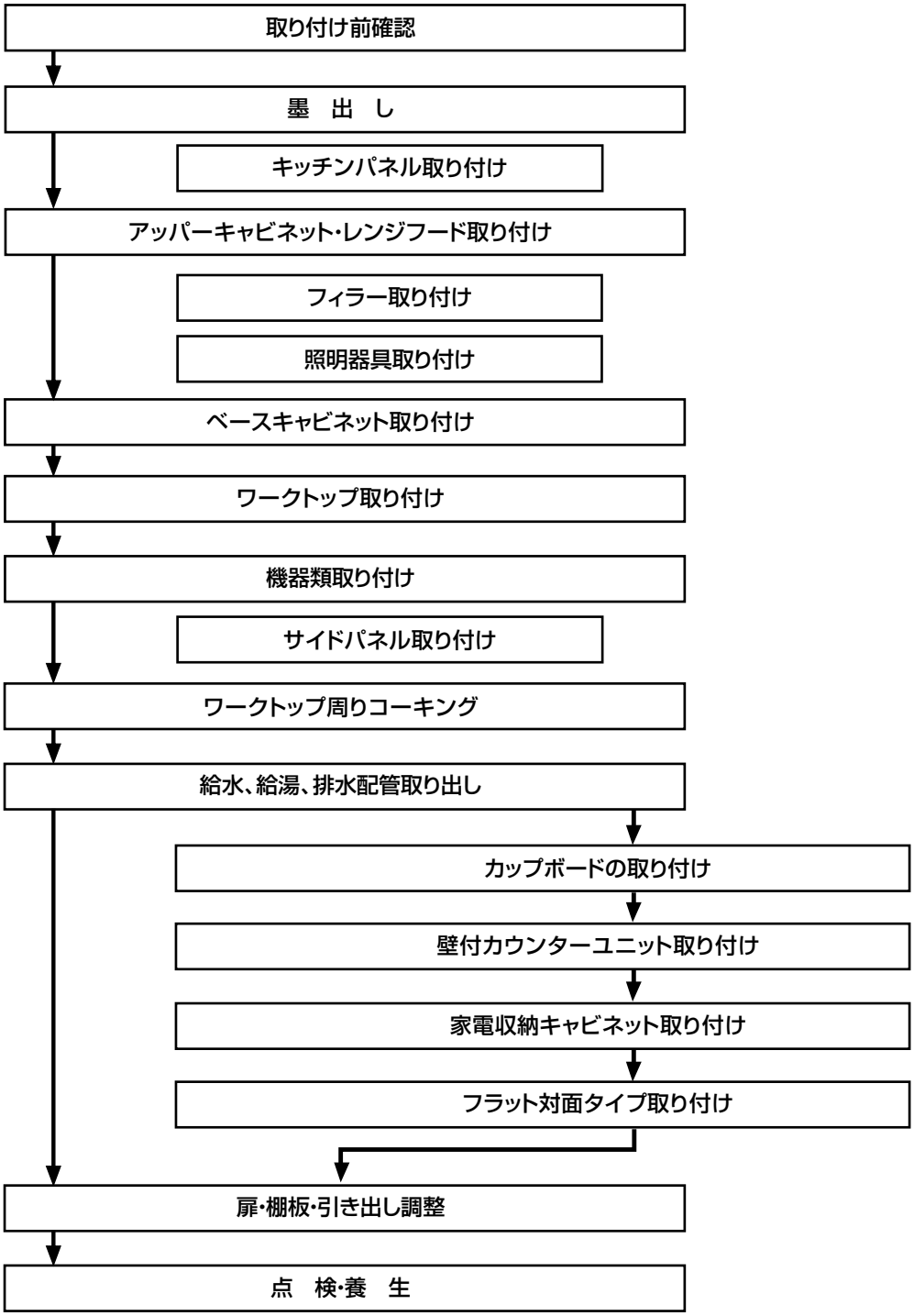
■目　次

1. 安全上のご注意 ……表紙
2. 取付設置の流れ……3
3. 工具……4
4. 取り付け前確認 ……5
5. キッチンパネル取り付け ……6
6. アッパーキャビネット取り付け ……7
(1) ガイド穴加工 ……7
(2) 照明用配線の切欠き加工 ……7
(3) 梁欠きアッパーキャビネットの切欠き加工 …8
(4) 連結･固定 ……8
(5) レンジフードの取り付け ……8
7. フィラー（オプション）取り付け ……9
(1) 間口調整フィラー ……9
(2) 不燃ボックス ……9
(3) 天井フィラー ……11
8. ベースキャビネット取り付け ……13
(1) ガイド穴加工 ……13
(2) 間口調整フィラー ……14
(3) 連結……14
(4) 見切り対応部材取り付け ……15
(5) 床･壁のレベル調整･壁面固定……15
9. ワークトップ取り付け ……16
(1) レベル調整･接合･固定 ……16
10. 機器 ……16
11. サイドパネル ……17
12. ワークトップ周りのコーキング ……18
13. 給水･給湯･排水配管取り出し ……19
(1) 水栓の取り付け ……19
(2) 排水セットの取り付け ……19
(3) 水漏れの確認 ……22
(4) 給水･給湯･排水配管の取り出し ……23
(5) 浄水器および料理用整水器の取り付け ……24
14. カップボード取り付け ……25
(1) 連結 ……25
(2) キャビネットの(壁面･サイドパネル)
への固定 …25
15. 壁付カウンターユニット取り付け ……26
(1) カウンターユニットの壁面固定 ……26
(2) サイドパネル･隣接キャビネットとの連結 ……27
(3) 引き出しの取り付け ……27
16. 家電収納キャビネット取り付け ……28
(1) 取り付けの前に ……28
(2) 家電収納キャビネットの取り付け ……28
(3) カウンターの固定 ……28
(4) 横キャビネットの連結の固定 ……28
(5) 電源の接続 ……29
(6) 蒸気排出ユニットの取り付け ……29
17. フラット対面タイプ取り付け ……29
(1)キャビネット ……30
(2)固定金具･パッキン ……31
(3)パネル ……32
18. 点検･養生……37
19. 巻末資料 ……38
(1) 扉の取り付け ……38
(2) 蝶番の調整 ……38
(3) プッシュラッチ ……40
(4) ロック機構付アッパーキャビネット ……40
(5) 引き出し扉調整 ……40
(6) 棚板の取り付け ……42
(7)開き扉用ソフトクローズ金具の取り付け ……42
標準取り付け高さ ……43
アッパーキャビネット上端 H=2350ワークトップ上面 H=850の場合

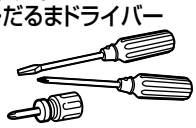
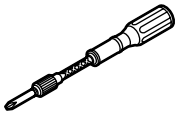
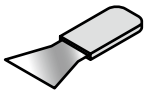
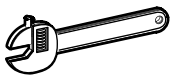
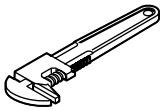
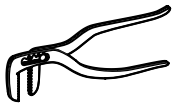
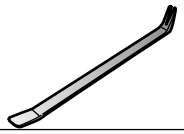
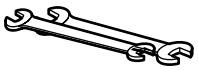
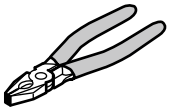
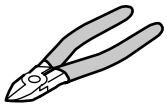
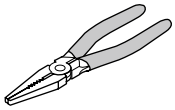
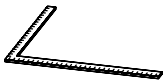
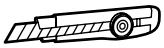
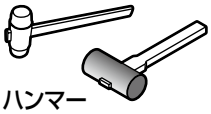
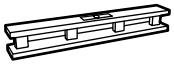
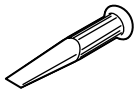
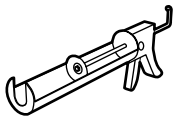
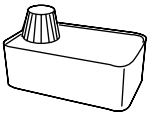
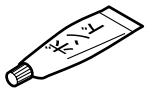
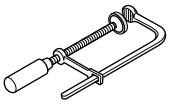
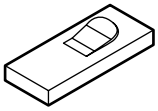
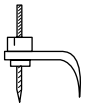
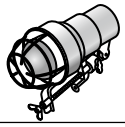
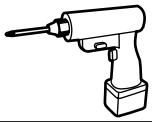
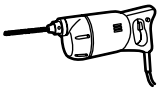
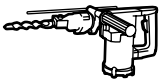
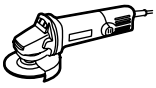
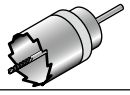
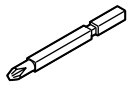
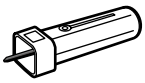
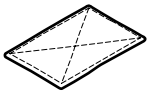
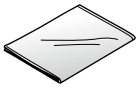
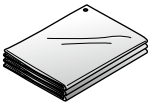
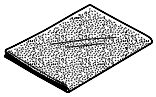
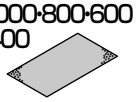
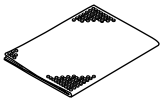
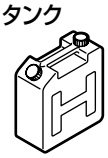
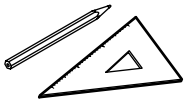
■改訂履歴

年月日	改訂ページ・変更点	年月日	改訂ページ・変更点

2 取付設置の流れ


取り付け前確認
墨　出　し
キッチンパネル取り付け
アッパーキャビネット・レンジフード取り付け
フィラー取り付け
照明器具取り付け
ベースキャビネット取り付け
ワークトップ取り付け
機器類取り付け
サイドパネル取り付け
ワークトップ周りコーキング
給水、給湯、排水配管取り出し
カップボードの取り付け
壁付カウンターユニット取り付け
家電収納キャビネット取り付け
フラット対面タイプ取り付け
扉・棚板・引き出し調整
点　検・養　生

3 工具

ドライバー ・だるまドライバー 	大型マイナス ドライバー	自在ドライバー 	カワスキ 	モンキースパナ 	パイプレンチ 
プライヤー 	六角レンチ	バール 	スパナー式 	ペンチ 	ニッパー 
ラジオペンチ 	金のこ	のこぎり	金尺 	カッターナイフ 	下げ振り
レーザー 墨出し機	スケール	プラスチックハンマー  ハンマー	水準器 	ノミ 	コーキングガン 
墨つぼ	PVC用接着剤 	エポキシ系接着剤	速乾ボンド 	クランパー 	かんな 
排水トラップ 締付工具	水栓取付工具	ホース・バケツ	自在ギリ 	マスキングテープ	投光器（照明） 
電気ドライバー 	電気ドリル 	ハンマードリル （リフォーム用） 	電気ディスクグラインダー 	ウインチ	電気丸ノコ （チップソー付き）
電動サンダー	ジグソー	ホールソー φ25・32・35・ 50 	ドリルφ2.5・3.5・3.8・ 4・5・6・8 タイル用ドリルφ3.8・6	プラスビット 	ダイヤモンドカッター
塩ビカッター	被覆銅管皮むき器 	雑巾 	ゴミ袋 	シート（雨具） 	毛布（養生用） 
サンドペーパ 耐水ペーパ #1000・800・600 400 	ホウキ・チリトリ	掃除機	コードリール	脚立	エアーキャップ 
ポリタンク 	筆記用具・三角定規 	ねじ類			

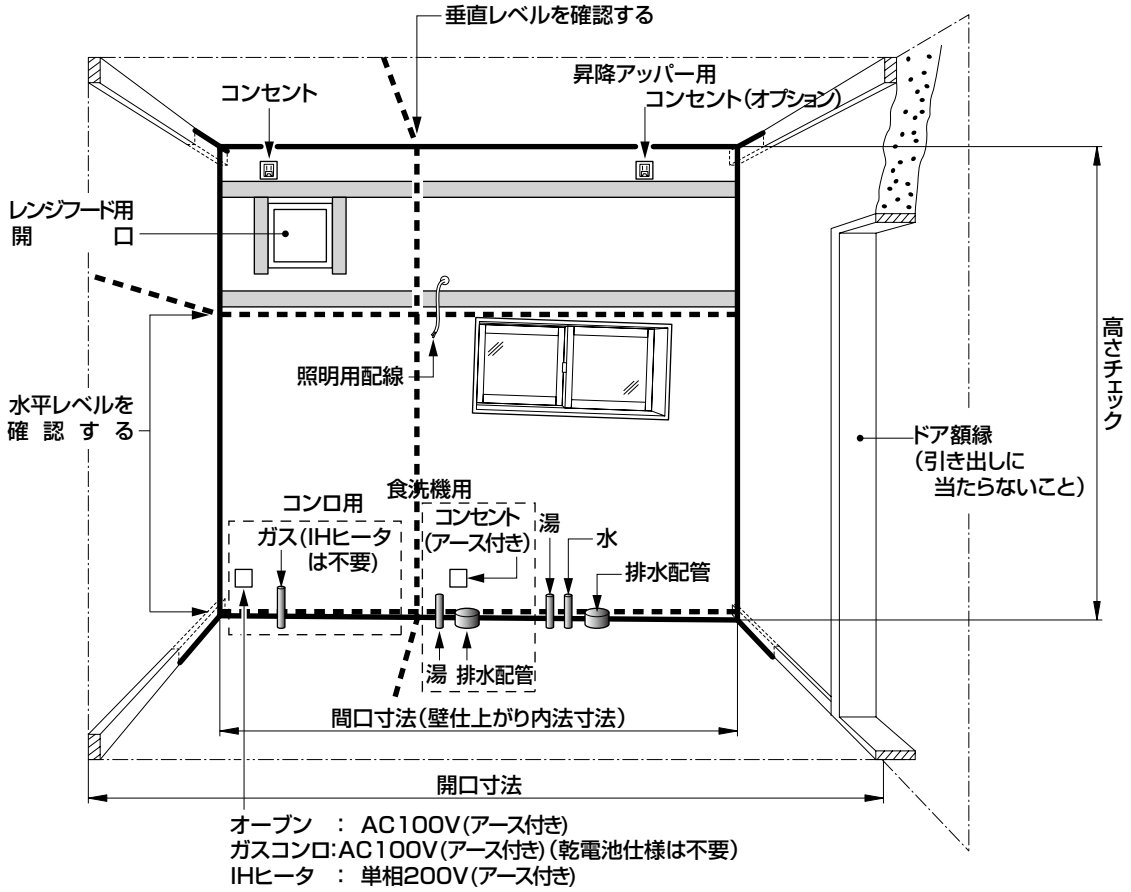
単位（mm）

4 取り付け前確認

(1) 確認内容

設備図と照合する。

①間口寸法、水平 、垂直
②給水、給湯、排水、ガス、電源位置と接続方法
③窓枠、ドア枠 、建具位置と寸法
④キャビネット、機器取り付け桟の位置



取り付け可能な壁構造

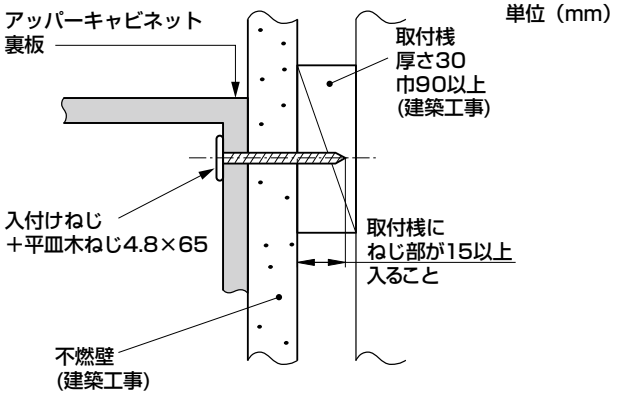
不燃壁：厚さ 30mm 以下の場合

入付けの平皿木ねじ 4.8 × 65 を使用してください。

不燃壁：厚さ 30mm 以上の場合

有効ねじ部が取付桟に、15mm 以上入るねじを使用してください。
落下して、けがをするおそれがあります。

単位（mm）



⚠ 注意

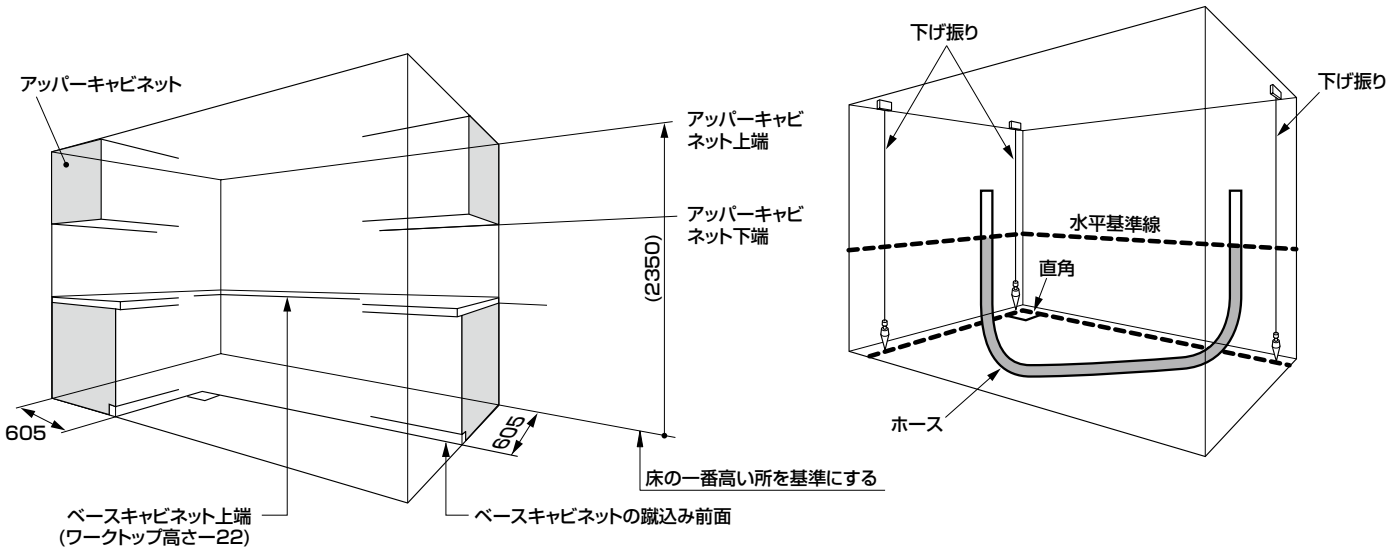
必ずおこなう

取り付け桟は、厚み 30mm 以上、幅 90mm 以上を使用する。
キャビネットが落下し、けがをするおそれがあります。

単位（mm）

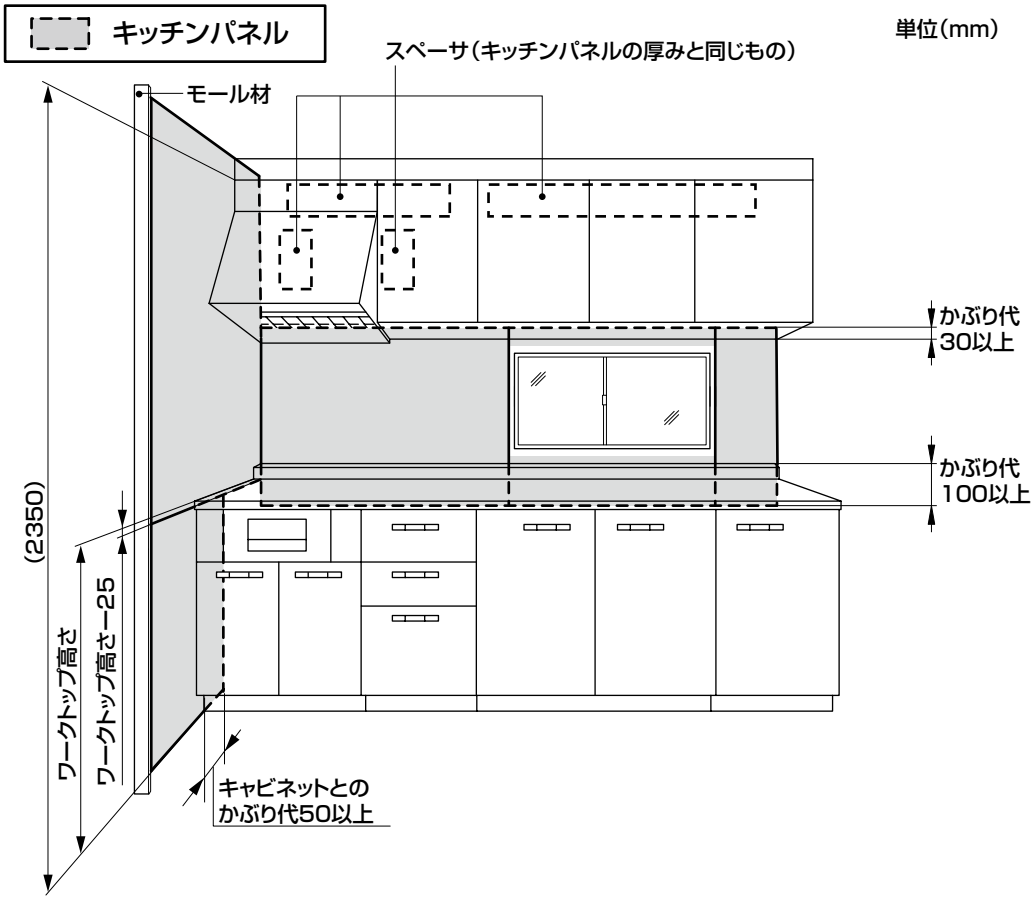
(2) 墨出し

床の一番高い所を基準にして正確に墨出しをする。



5 キッチンパネル取り付け

詳細は、キッチンパネルに入れ付けの説明書を参照する。

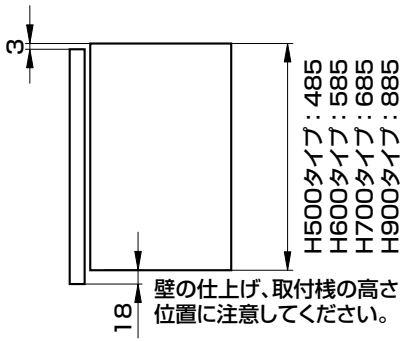


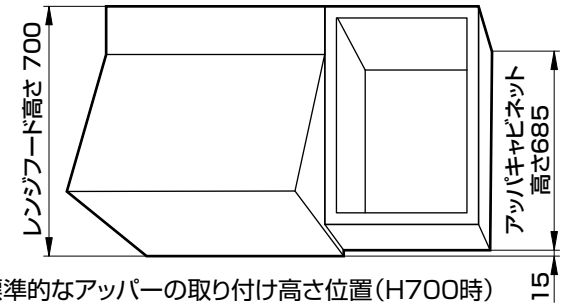
単位（mm）

6 アッパーキャビネット取り付け

アッパーキャビネット高さについて

アッパーキャビネットは扉下端も持って扉を開閉するため本体高さが呼び寸法より小さくなっています。





標準的なアッパーの取り付け高さ位置（H700時）

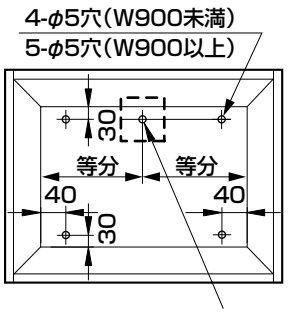
レンジフードの上端とアッパーキャビネットの上端を合わせて取り付けます。（レンジフードの下端よりアッパーキャビネットの下端が15mm上になります。）

※扉・棚板の取り付け・取り外し方は巻末資料を参照。

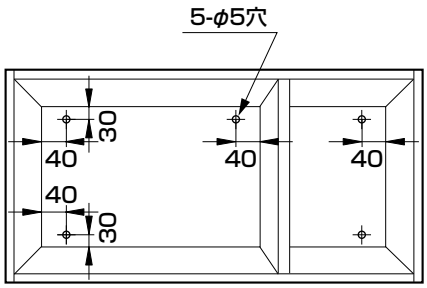
(1) ガイド穴加工

キャビネット背板・側板に、壁固定用・連結用のガイド穴をあける。

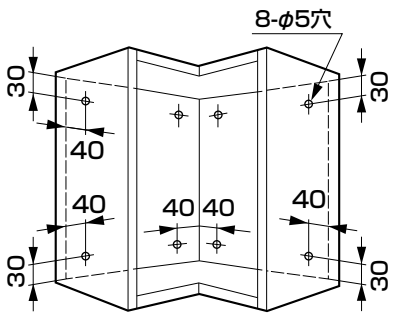
1枚-2枚扉



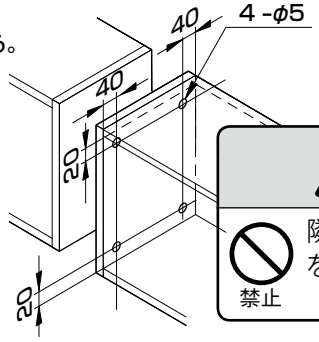
3枚扉



コーナキャビネット



W900 以上の場合
センターにガイド穴をあける。



⚠ 注意

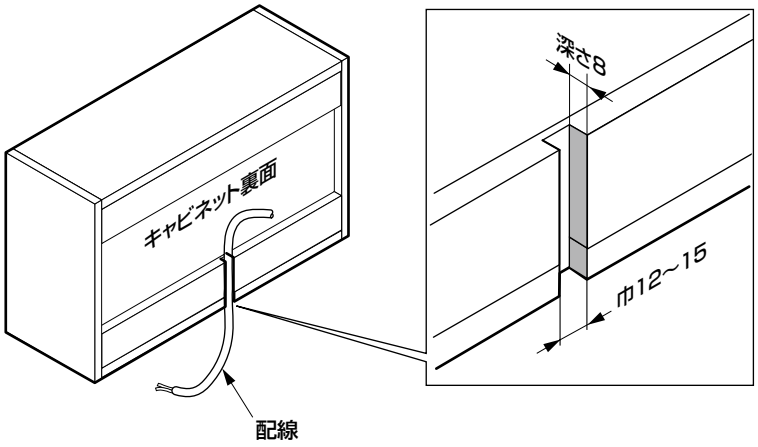
禁止 隣接キャビネットにキリを貫通させないこと。

(2) 照明用配線の切欠き加工

照明がつくアッパーキャビネットに配線用の切欠き加工をする。

※配線は、固定時にキャビネット下に引き出す。

※照明器具（オプション）はキャビネット固定後に取り付けます。

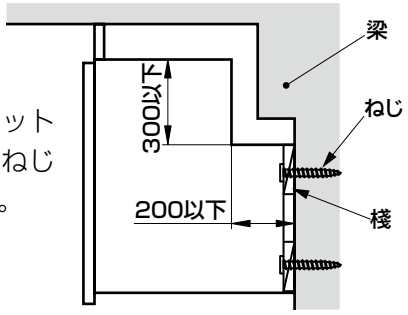


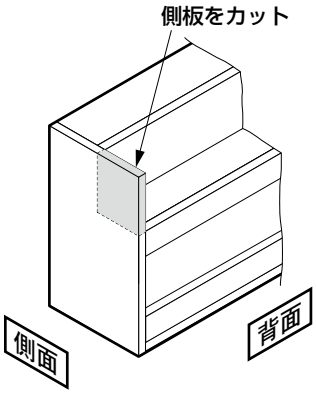
単位（mm）

(3) 梁欠きアッパーキャビネットの切欠き加工

取付面の梁寸法に合わせて、側板をカットして取り付けます。

※壁には、キャビネットの桟がある場所でねじ固定してください。





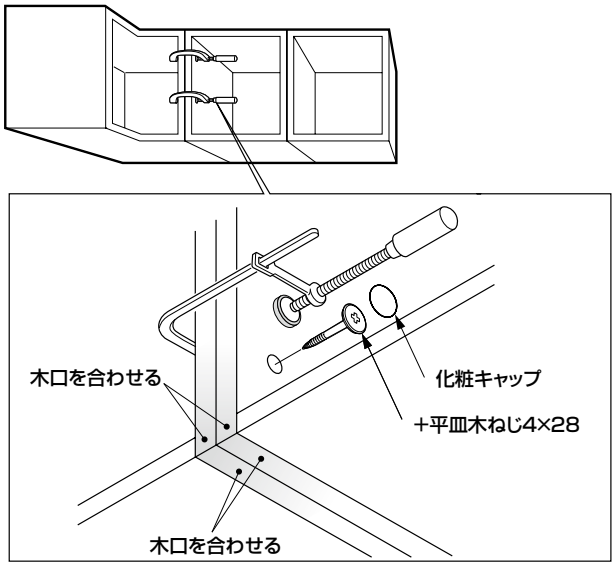
最大カット寸法
高さ　300mm
奥行き 200mm

(4) 連結・固定

①キャビネット木口を合わせてから連結する。

⚠ 注意

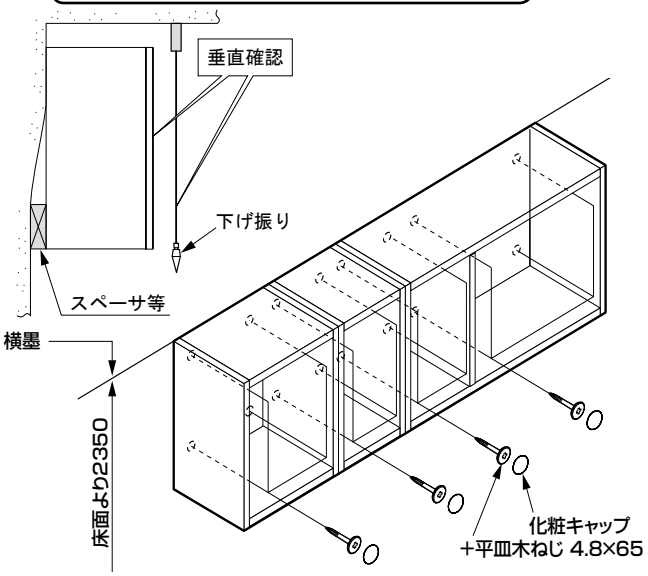
必ずおこなう　クランパーは、クッション付きもしくはベニヤをはさんでキャビネットに傷をつけないようにする。



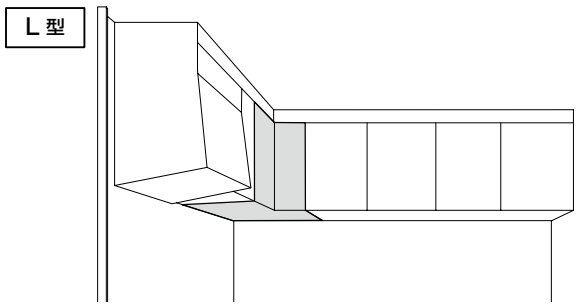
②墨出し線に沿って、固定する。

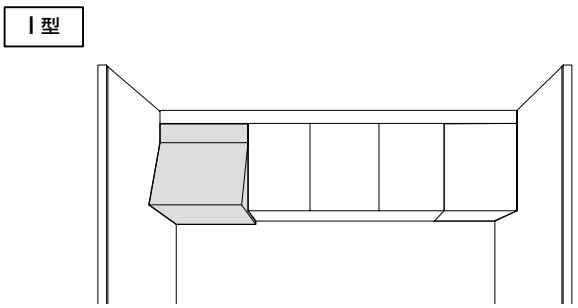
⚠ 注意

必ずおこなう　壁面は必ず平面にする。
凹凸があると扉に段差ができます。



L型は、コーナーキャビネット
I型は、右端または左端の壁側レンジフードから取り付けます。





※昇降アッパーキャビネット（手動式・自動式）の取り付けは、機器側入れ付けの説明書を参照する。

(5) レンジフードの取り付け

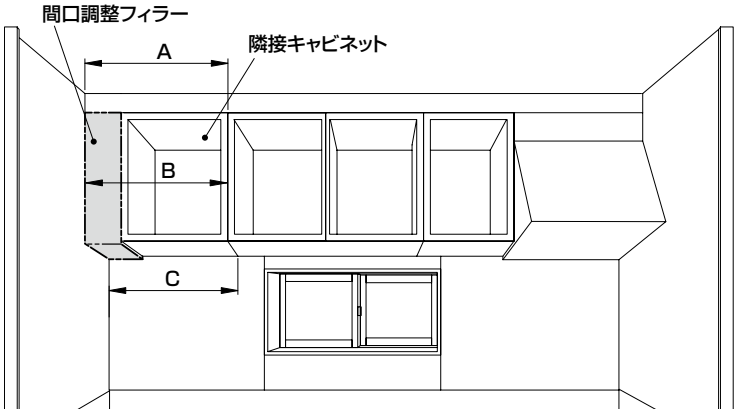
※取り付け方法詳細は、機器側の入れ付けの説明書を参照する。

単位（mm）

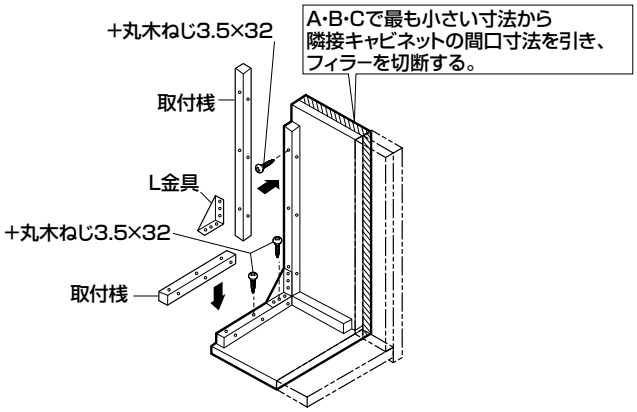
7 フィラー（オプション）取り付け

(1) 間口調整フィラー

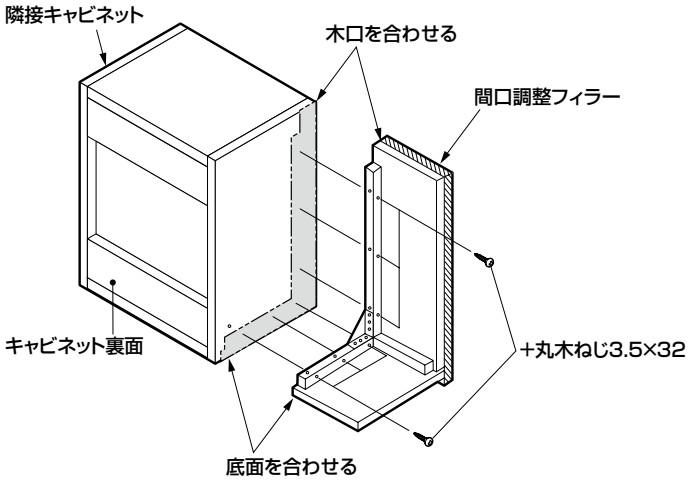
①間口寸法A（上端）・B（中央）・C（下端）を実測する。

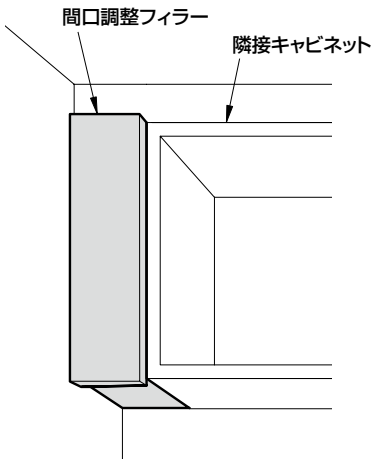


②実測値から隣接キャビネットの間口寸法を引き、フィラーを切断する。
③取付桟とL金具をフィラー裏面に固定する。



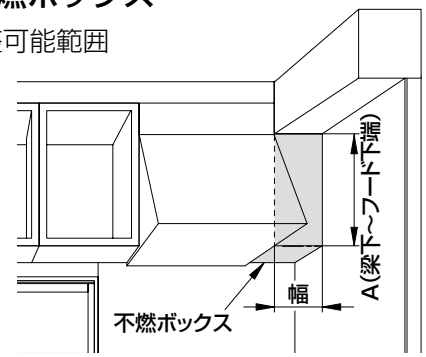
④キャビネットとフィラーの木口を合わせて、キャビネットに固定する。





(2) 不燃ボックス

1) 調整可能範囲

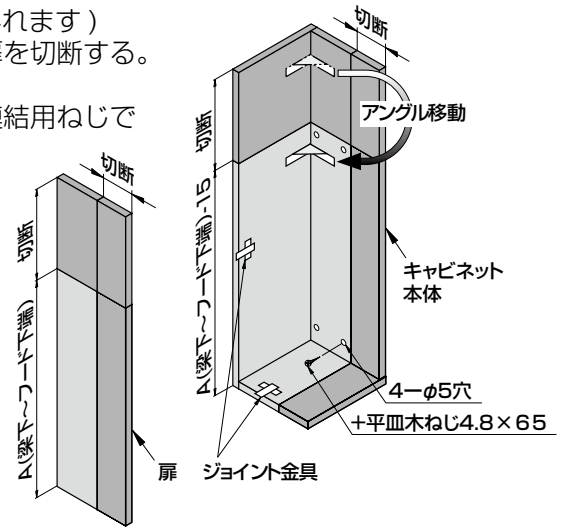


150	調整可能範囲	A：100～700mm （幅 110～150mm）
450	調整可能範囲	A：400～700mm （幅 150～450mm）

2）不燃ボックスの加工

巾 150mm 品の場合

①扉をキャビネット本体から取り外す。(強く引くと外れます)
②梁の飛び出し寸法に合わせて、キャビネット本体と扉を切断する。
③切断したキャビネット本体にアングルを付け替える。
④キャビネットの背板に壁固定用のガイド穴をあけ、連結用ねじで壁に固定する。
⑤扉をキャビネット本体に取り付ける。
（強く押し込んで取り付ける）



⚠ 注意

必ずおこなう

切断時には紙テープを貼り、バリがでないようにする。
取付桟は、厚み 30mm 以上、幅 90mm 以上を使用する。(建築工事)
落下し、ケガをするおそれがあります。

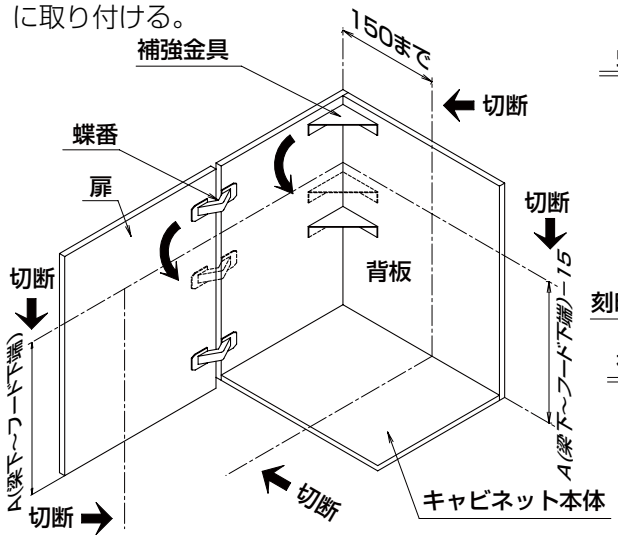
巾 450mm 品の場合

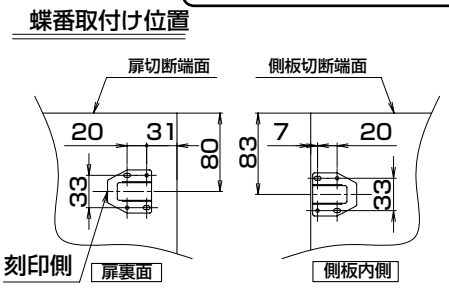
①扉をキャビネット本体から取り外す。
②梁の飛び出し寸法に合わせて、キャビネット本体と扉を切断する。
③高さ方向を切断した場合は、蝶番と補強金具を指定の位置（下図参照）に取り付ける。

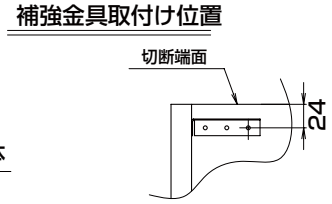
⚠ 注意

必ずおこなう

切断時には紙テープを貼り、バリがでないようにする。

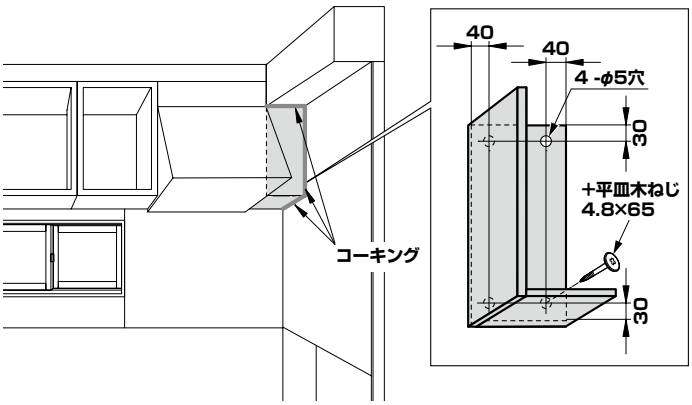






3）不燃ボックスの取り付け

①必ず最初にレンジフードの取り付けをおこなう。
②ボックス背板に、壁固定用のガイド穴を下図にしたがってあける。
③壁に固定後、扉を閉めてコーキングにて接着する。
※収納としての使用はできません、必ず扉を閉めた状態でコーキングし開かないことを確認する。



(3) 天井フィラーの取り付け

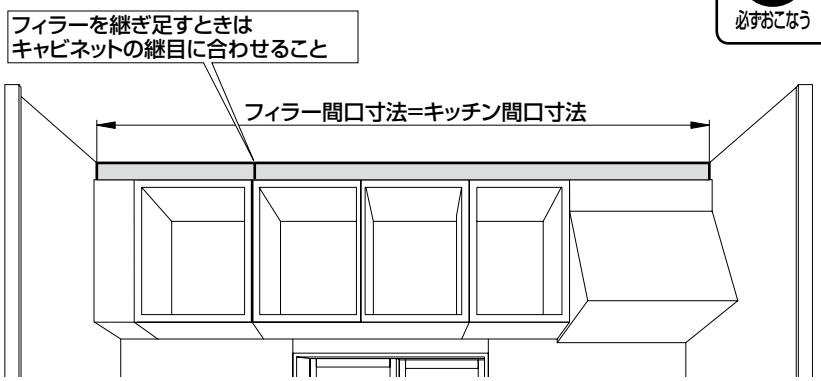
①間口方向、奥行方向の切断

⚠ 注意

必ずおこなう

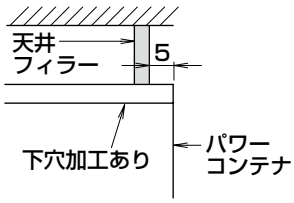
切断時には紙テープを貼り、バリがでないようにする。

両側壁面時

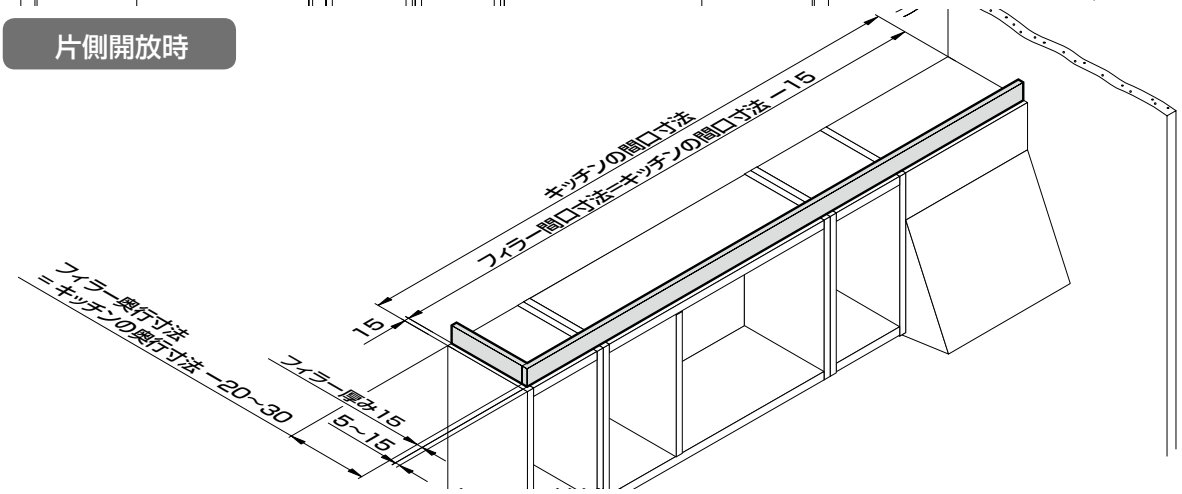


天井フィラー取り付け位置

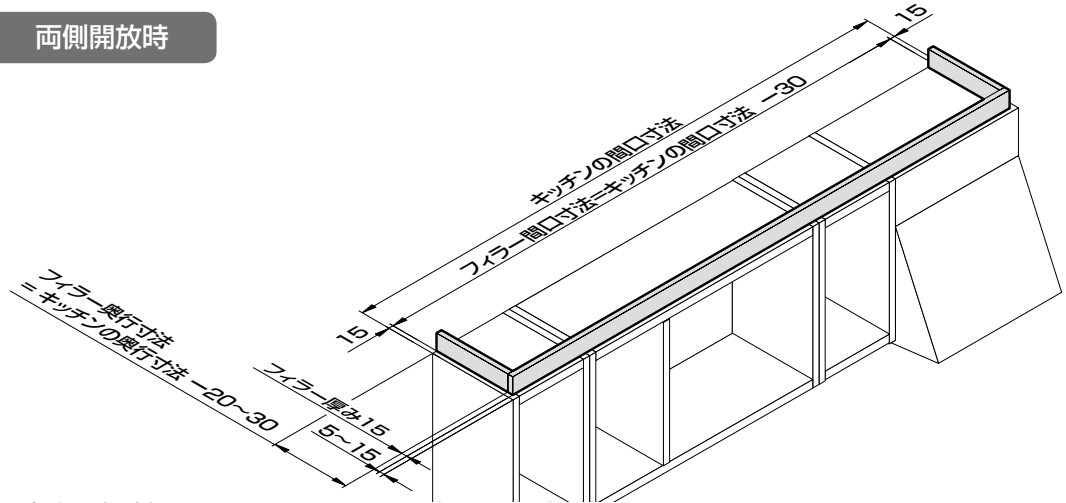
・パワーコンテナの場合、天井フィラー取り付け用下穴を利用すると 5mm になります。



片側開放時

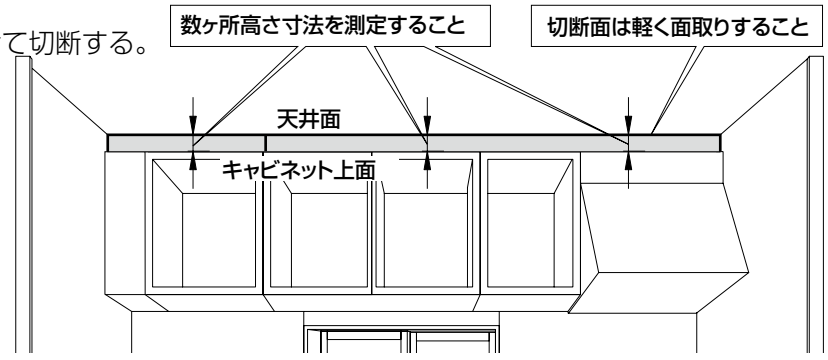


両側開放時



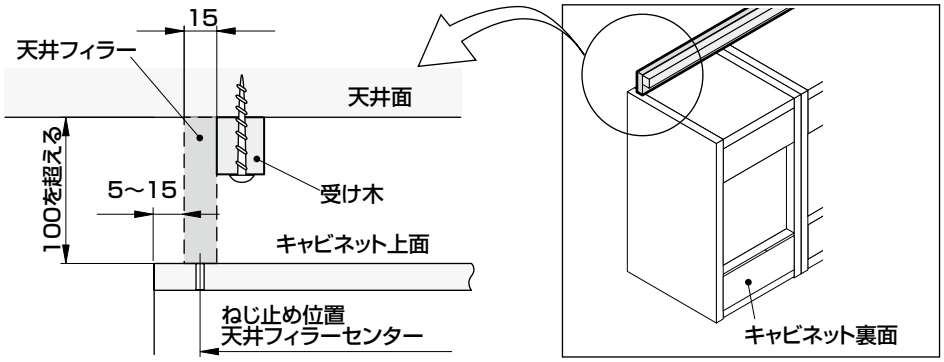
②高さ方向の切断

最少の高さ寸法に合わせて切断する。



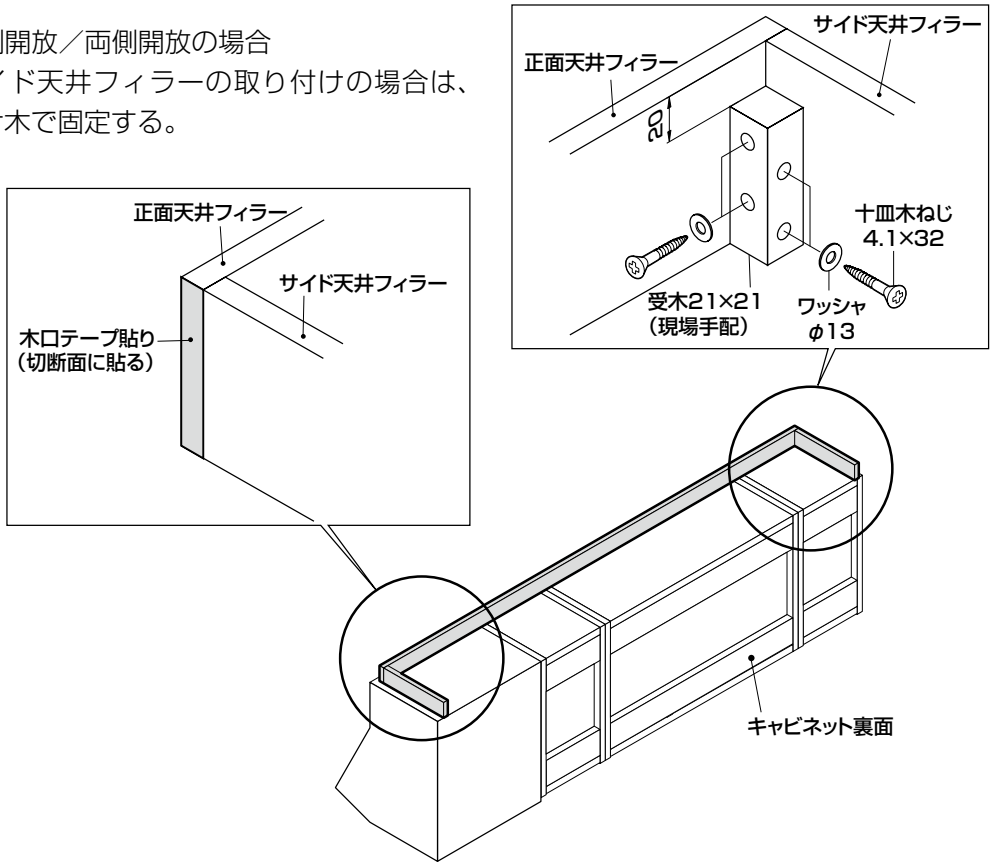
③受け木の取り付け

天井フィラーの高さ寸法が 100 を超える場合は、天井に受け木をあてねじ止めする。



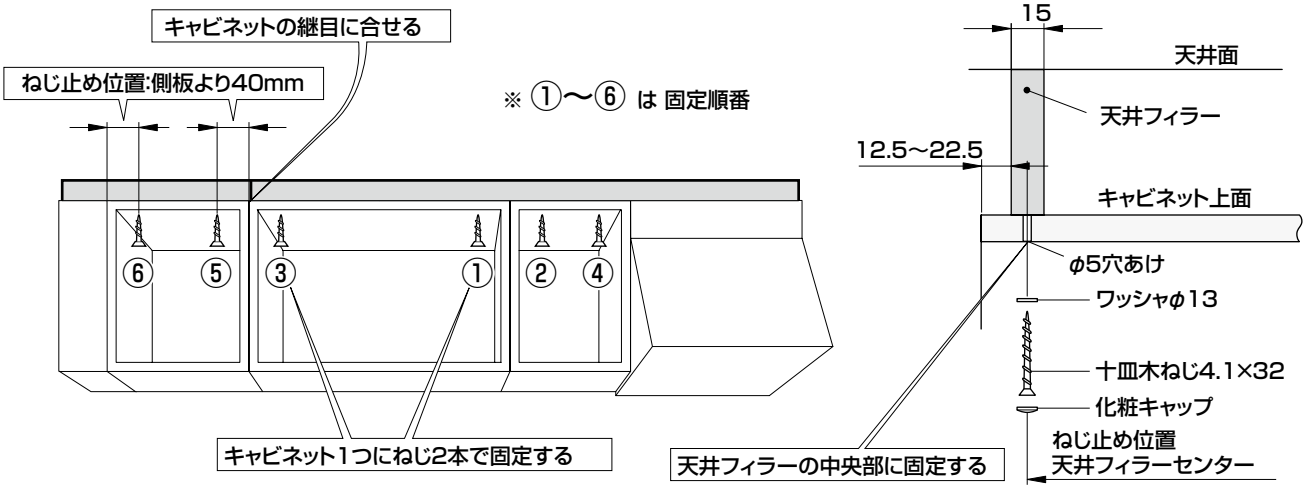
●片側開放／両側開放の場合

サイド天井フィラーの取り付けの場合は、受け木で固定する。



④固定

アッパーキャビネット天板に下穴をあけ、天井フィラーをセットしてねじで固定する。



単位（mm）

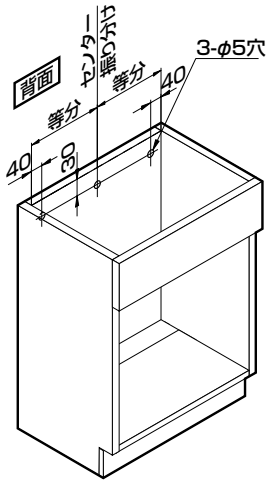
8 ベースキャビネット取り付け

※扉・棚板・引き出しの取り付け・取り外し方は巻末資料を参照。

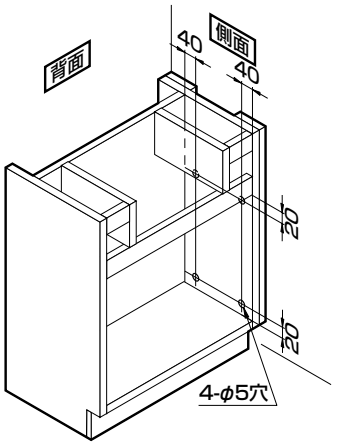
(1) ガイド穴加工

①シンクキャビネット・コンロキャビネットに壁面固定用のガイド穴をあける。

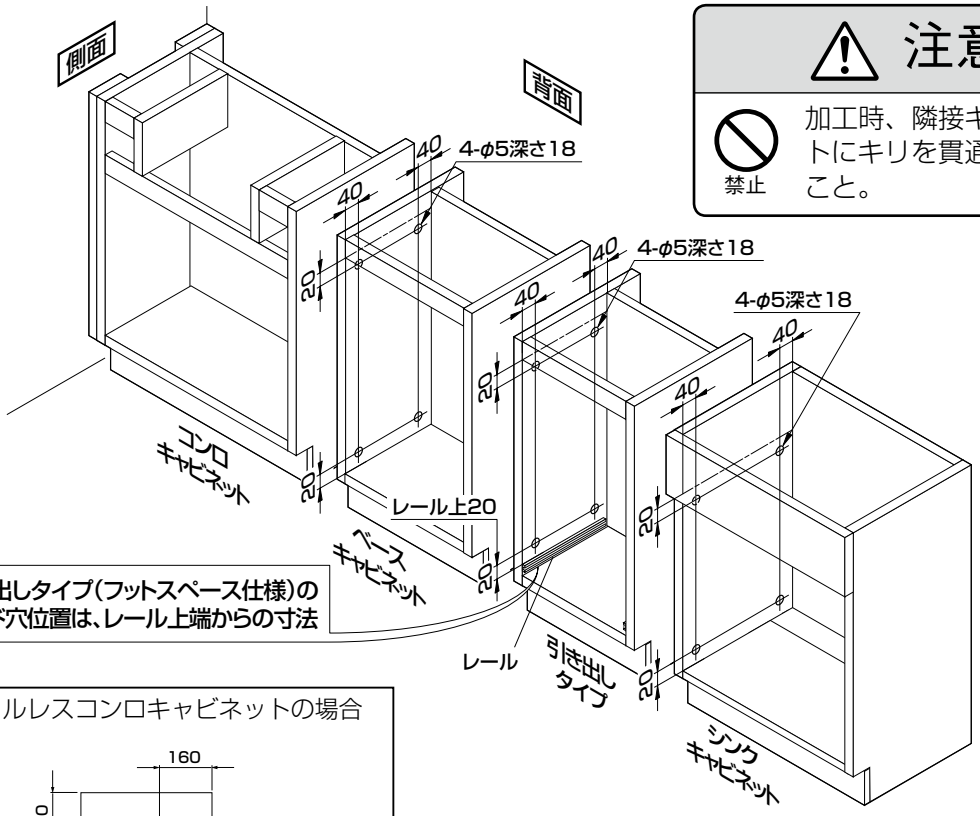
シンクキャビネット



コンロキャビネット



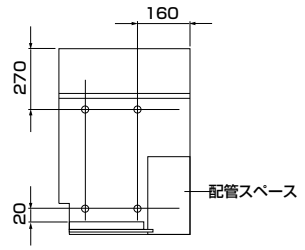
②キャビネット側板に連結用ガイド穴をあける。



⚠ 注意

禁止　加工時、隣接キャビネットにキリを貫通させないこと。

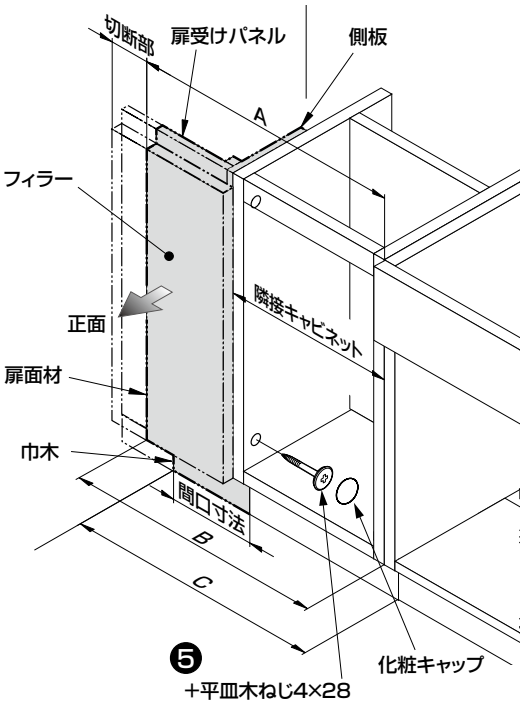
グリルレスコンロキャビネットの場合



③一次側の給水･給湯･排水管立ち上げ位置に合わせて背板又は点検口フタに配管取り出し用穴をあける。
（穴径・穴位置は P.23 を参照）

(2) 間口調整フィラー

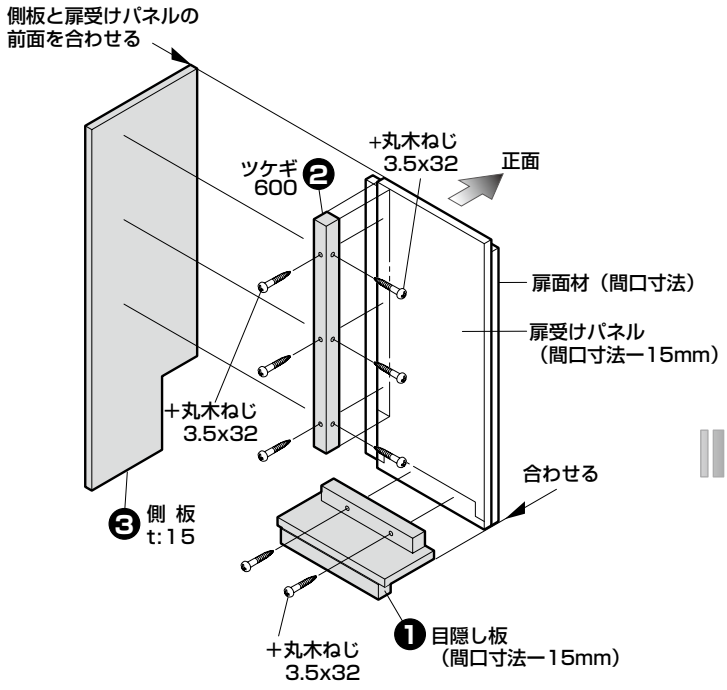
①寸法A・B・Cを実測し、扉面材・扉受けパネル・巾木・目隠し板をカットする。
間口寸法＝（A・B・Cで最も小さい寸法）ー
（隣接キャビネット間口寸法）
<カット寸法>
扉面材・巾木：間口寸法
扉受けパネル・目隠し板：間口寸法ー 15mm

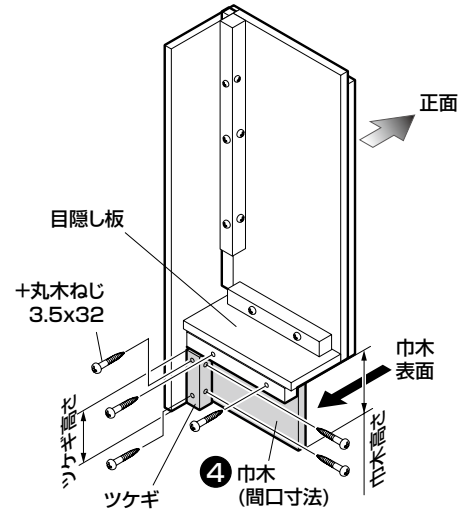


⚠ 注意

必ずおこなう
切断時には紙テープを貼り、バリがでないようにする。

②❶〜❺の順に固定・取付する。

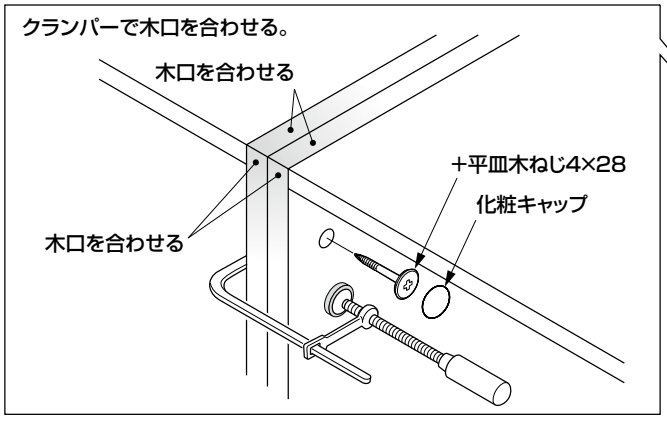




キッチン高さ	使用フィラー	巾木高さ	ツケギ高さ
H900	H900用	カット不要	カット不要
H875		25mmカット	
H850	H850用	カット不要	
H825	H800用	カット不要	
H800		25mmカット	

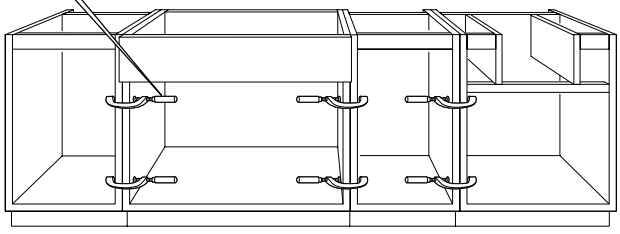
(3) 連結

クランパーで木口を合わせて連結する。



⚠ 注意

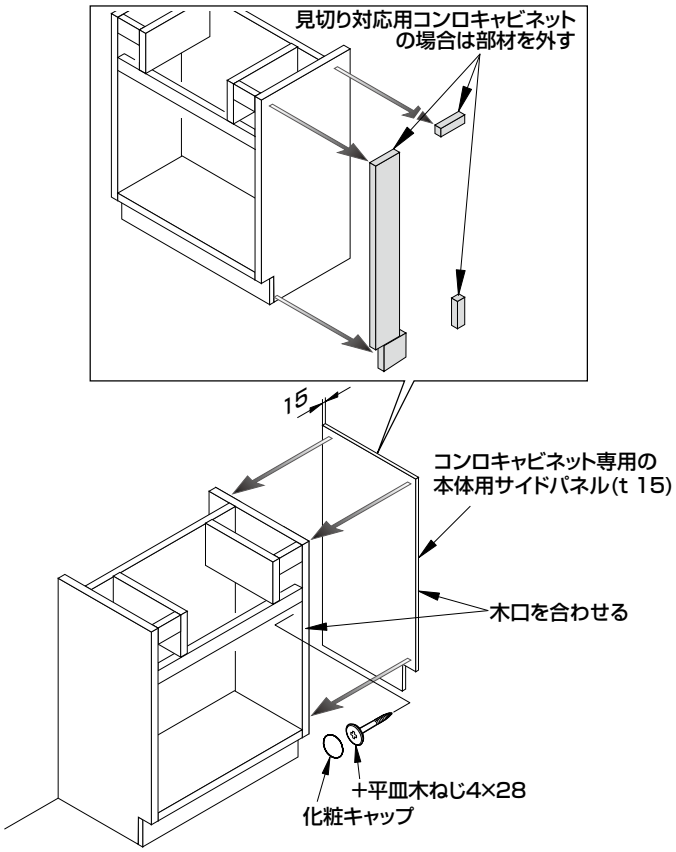
必ずおこなう
クランパーは、クッション付きもしくはベニヤをはさんでキャビネットに傷をつけないようにする。



(4) 見切り対応部材取り付け

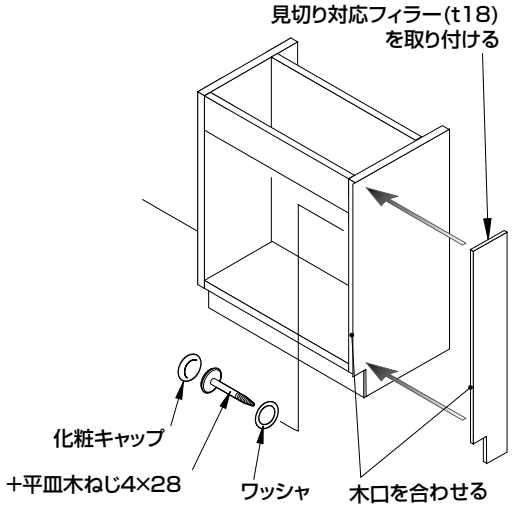
コンロキャビネット側オープンの時

見切り対応用コンロキャビネットの部材を外して、本体用サイドパネルを取り付けます。



左記以外の時

コンロ以外のベースキャビネットに取り付けます。



キッチン高さ	使用フィラー・サイドパネル	カット箇所・寸法
H900	H900用	カット不要
H875		下:25mm
H850	H850用	カット不要
H825	H900用	上:50mm、下:25mm
H800	H850用	上:50mm

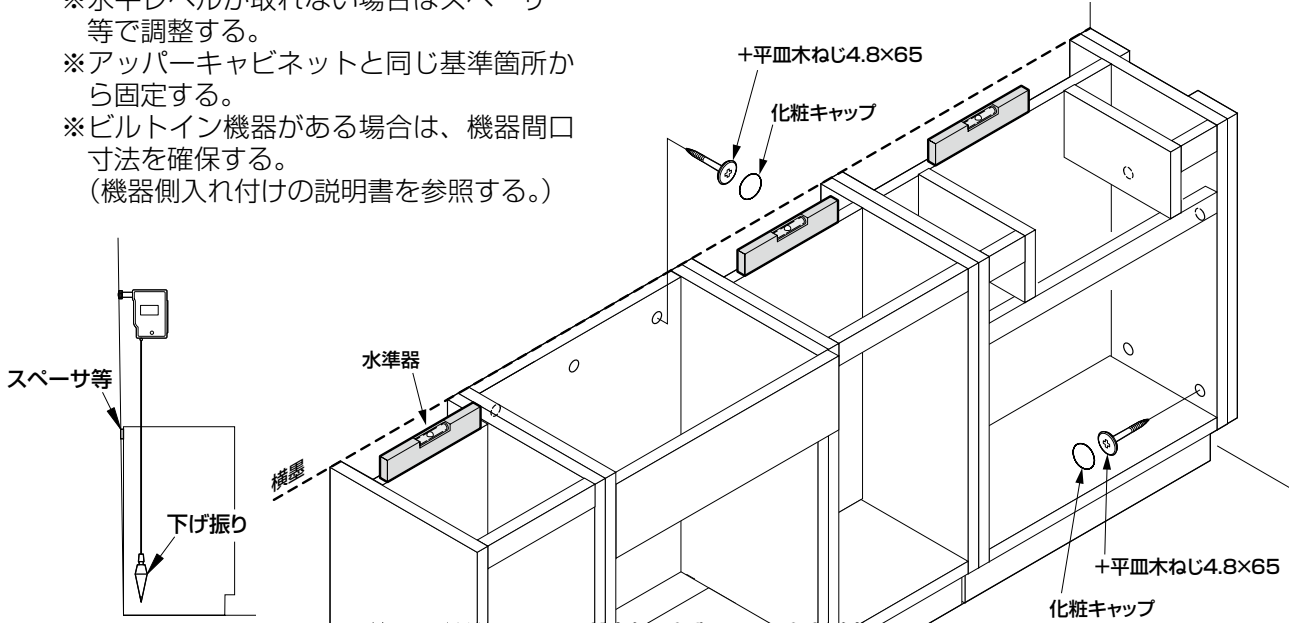
(5) 床・壁のレベル調整・壁面固定

①取り付け壁面の凹凸を確認する。
※凹凸がある場合はスペーサ等で調整する。
②キャビネット連結後の水平レベルを確認する。
※水平レベルが取れない場合はスペーサー等で調整する。
※アッパーキャビネットと同じ基準箇所から固定する。
※ビルトイン機器がある場合は、機器間口寸法を確保する。
（機器側入れ付けの説明書を参照する。）

⚠ 注意

必ずおこなう

床・壁のレベル確認を行いスペーサ等で調整する。
ソフトクローズが正常に働かない等の原因となります。



単位（mm）

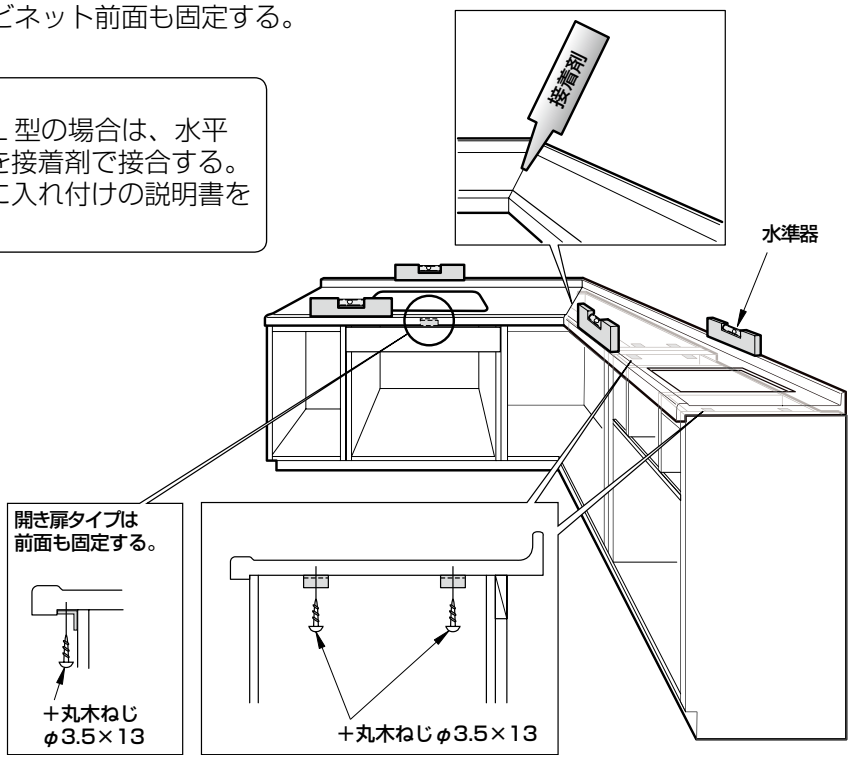
9 ワークトップ取り付け

(1) レベル調整・接合・固定

①ワークトップを仮設置し水平レベルを確認する。
※水平レベルが出ない場合はスペーサー等で調整する。
②キャビネットのＬ金具に内側から固定する。
開き扉タイプはシンクキャビネット前面も固定する。

注意事項

人工大理石製ワークトップＬ型の場合は、水平レベル確認後ジョイント部を接着剤で接合する。接合方法は、ワークトップに入れ付けの説明書を参照する。



10 機器

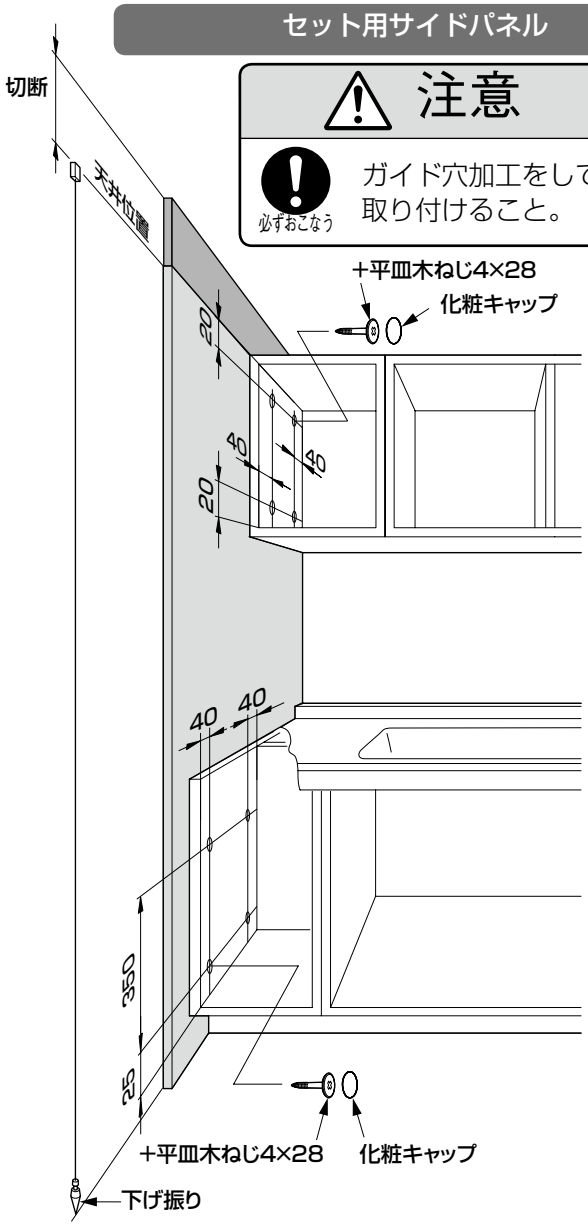
機器の取り付けは、必ず専用の説明書を参照する。

単位（mm）

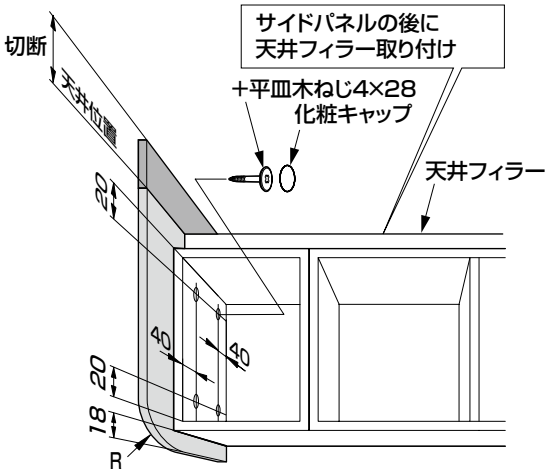
11 サイドパネル

垂直を確認し、キャビネットにガイド穴を開けて固定する。
※サイドパネルは、下記方法を参照し、床・天井にすき間がない様に切断する。

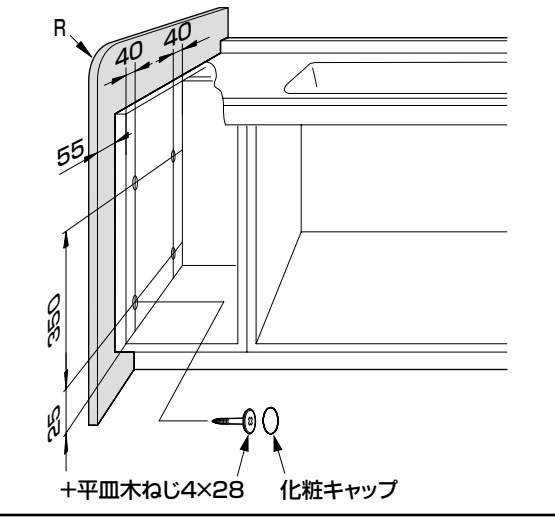
セット用サイドパネル



アッパーキャビネット用サイドパネル（天井フィラーあり）



ベースキャビネット用サイドパネル



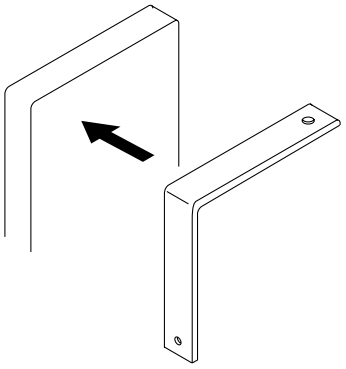
■モールの取り付け (オプション)

⚠ 注意

必ずおこなう

※取り付け手順に従い、必ずモール材をサイドパネルへ固定すること。
サイドパネルへの固定を行なわなかったり、固定が不完全な場合、モール材が剥がれケガをする恐れがあります。

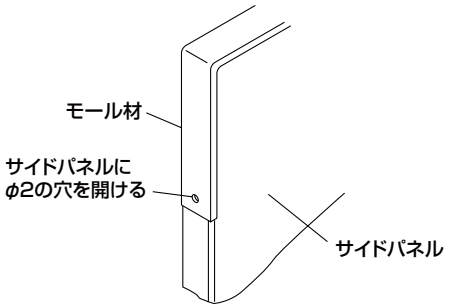
① モール材を取り付ける。
サイドパネルをキッチン本体に取り付けたあと、モール材裏面両面テープの剥離紙を剥がし、サイドパネルにしっかりと固定する。



注意事項

浮きや隙間の無いように強く押さえ固定すること。

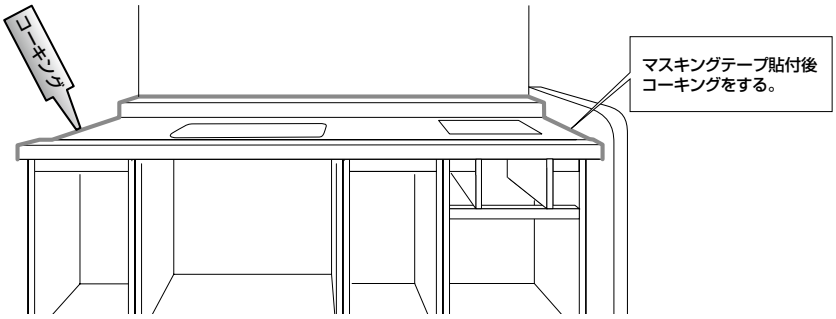
② サイドパネルに取り付ネジ用下穴を開ける。
モール材を押さえたままの状態で、2ヶ所のモール材貫　通穴に合わせて、ビス固定用の下穴（φ 2 深さ 15 mm）を開ける。



③ エンドキャップを取り付ける。
入れ付けのネジ（＋丸皿木３．１×１６）で固定する。

12 ワークトップ周りのコーキング

※水の浸水を防止するため、ワークトップ周囲にコーキングする。



単位（mm）

13 給水・給湯・排水配管取り出し

(1) 水栓の取り付け

※取り付けは水栓に入れ付けの
説明書を参照する。

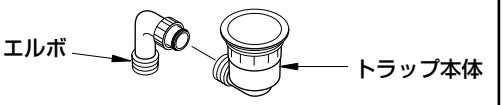
(2) 排水セットの取り付け

エルボをトラップ本体に接続してからシンクに取り付ける。

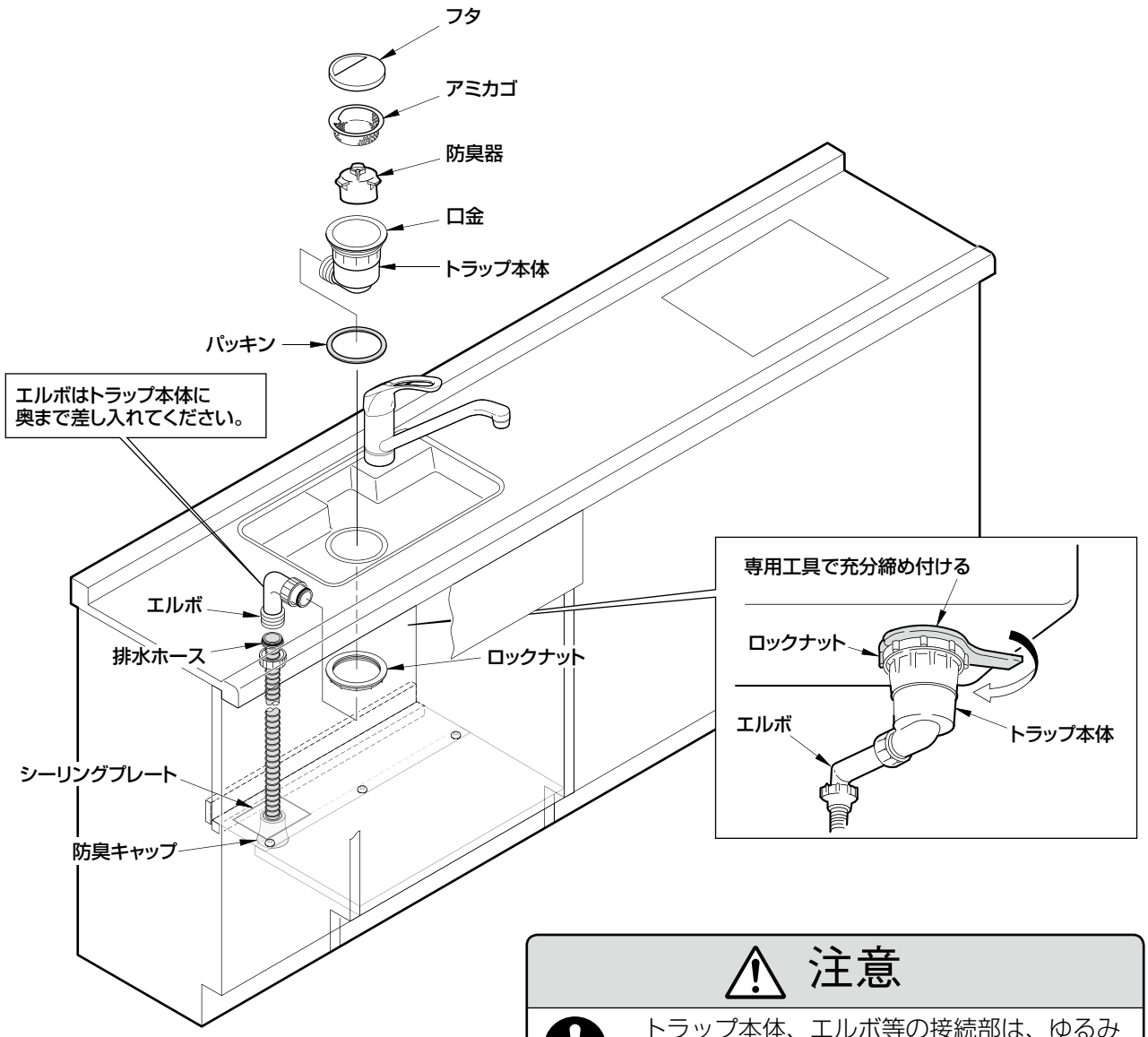
⚠ 注意

必ずおこなう

エルボの差し込みおよびナットの締め付けが完全に行なわれていることを確認してからシンクに取り付ける。
あとからエルボを接続すると水漏れするおそれがあります。



EX シンクの場合



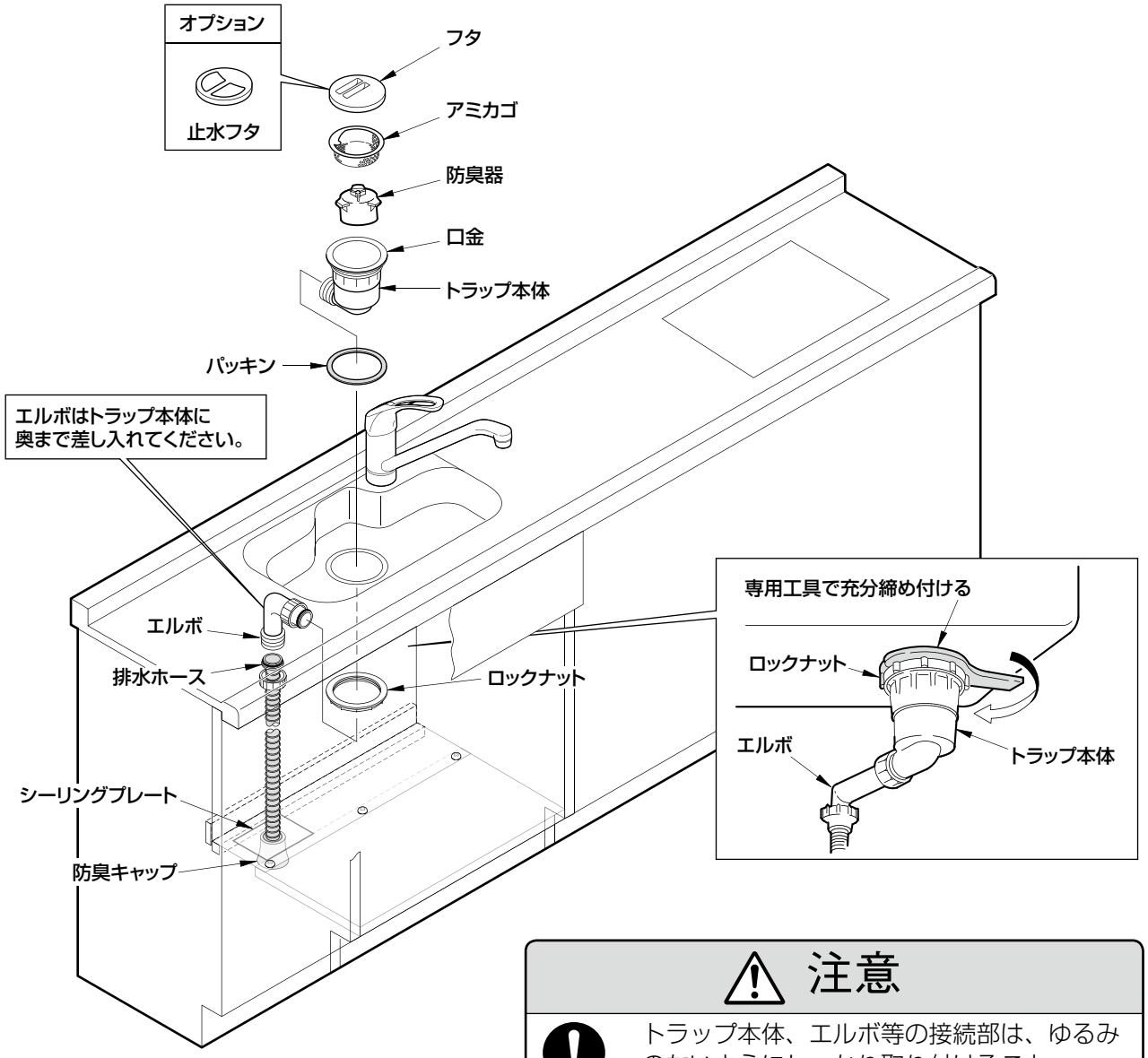
⚠ 注意

必ずおこなう

トラップ本体、エルボ等の接続部は、ゆるみのないようにしっかり取り付けること。
取り付けがゆるいと水漏れをするおそれがあります。

単位（mm）

Tシンク・Uシンクの場合

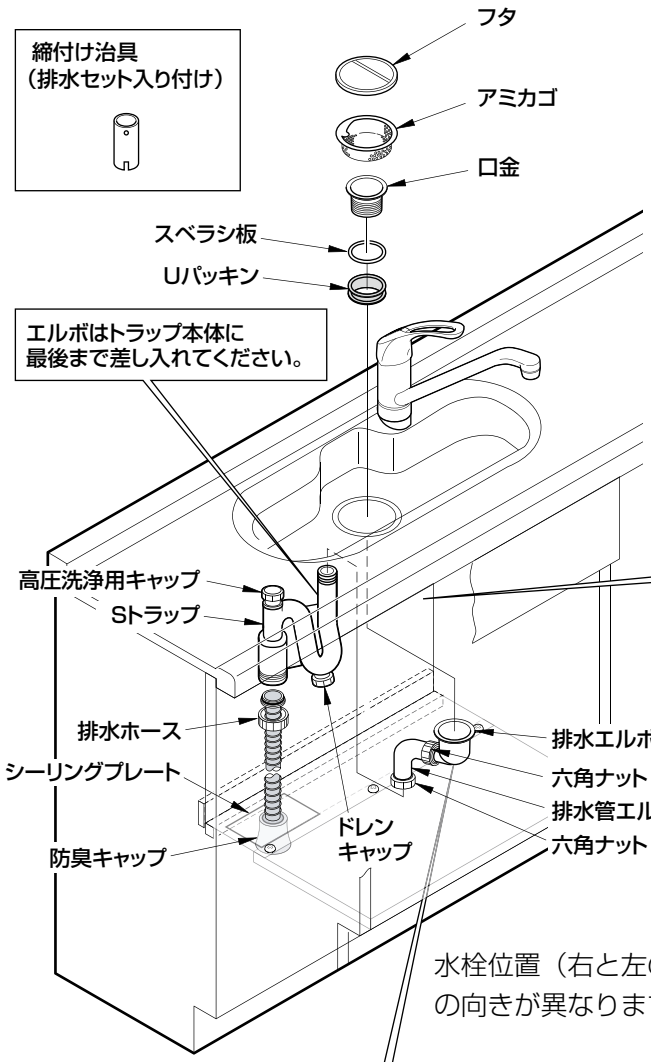


⚠ 注意

必ずおこなう

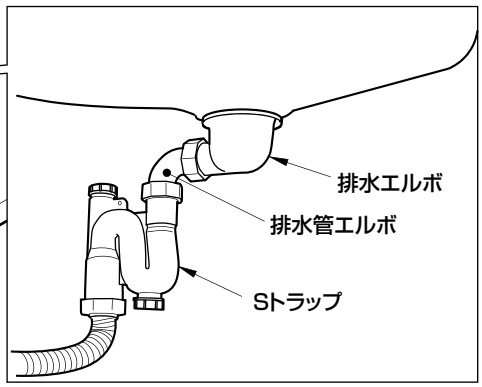
トラップ本体、エルボ等の接続部は、ゆるみのないようにしっかり取り付けること。
取り付けがゆるいと水漏れをするおそれがあります。

オーバルシンクの場合

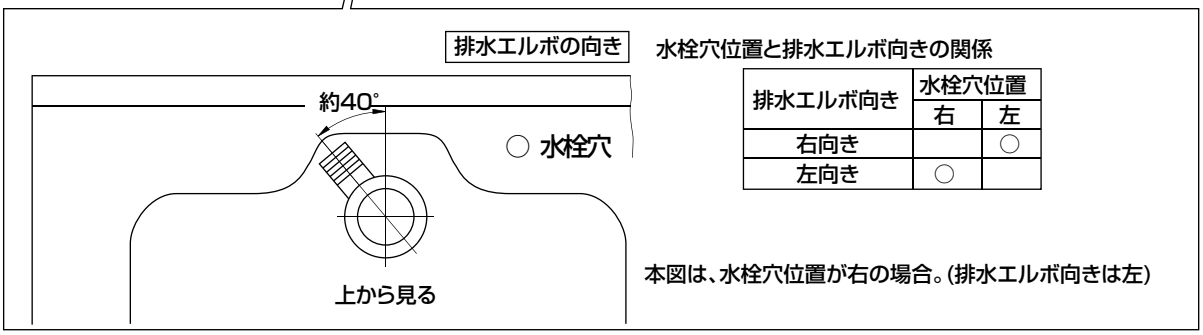


①Uパッキンをはさみスベラシ板、口金と排水エルボを取り付けます。
口金を手締め後、治具にドライバーを差し込んで増し締めします。（増し締め：1 ／ 4 回転）
排水エルボが共回りしないことを確認しながら締め込みます。

②排水管エルボ・Sトラップ・排水ホースを取り付けます。
排水管エルボは 30 mm以上差し込んで六角ナットを締め込みます。



水栓位置（右と左の場合）により、排水エルボの向きとSトラップの向きが異なります。

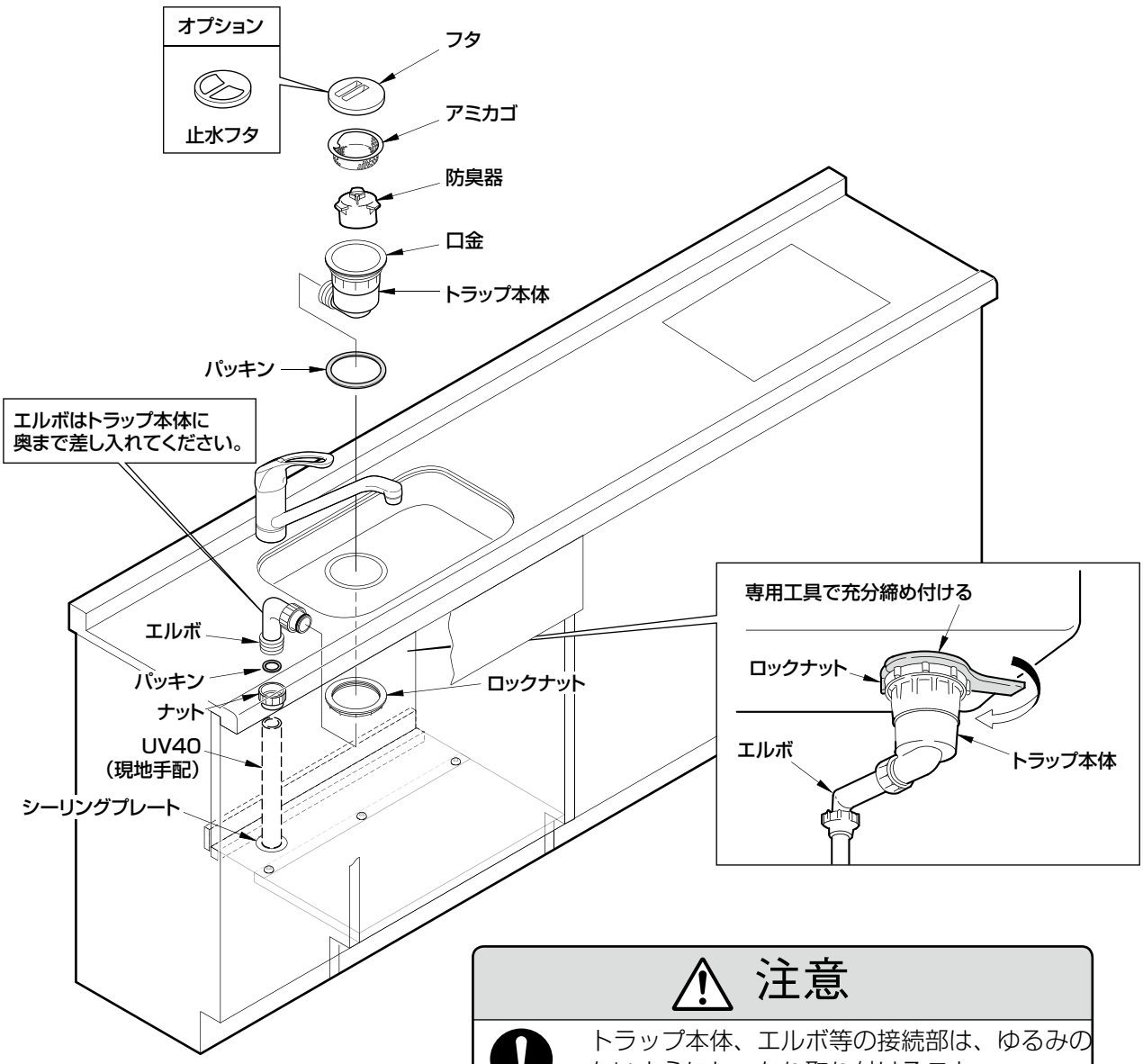


水栓穴位置と排水エルボ向きの関係

排水エルボ向き	水栓穴位置	
	右	左
右向き		○
左向き	○	

本図は、水栓穴位置が右の場合。(排水エルボ向きは左)

M・P シンク ・ S・P シンクの場合



⚠ 注意

必ずおこなう

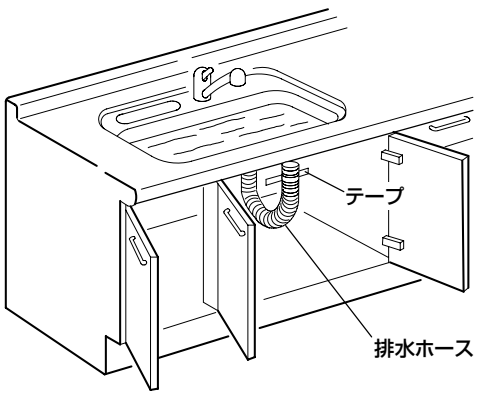
トラップ本体、エルボ等の接続部は、ゆるみのないようにしっかり取り付けること。
取り付けがゆるいと水漏れをするおそれがあります。

(3) 水漏れの確認

排水ホースの場合

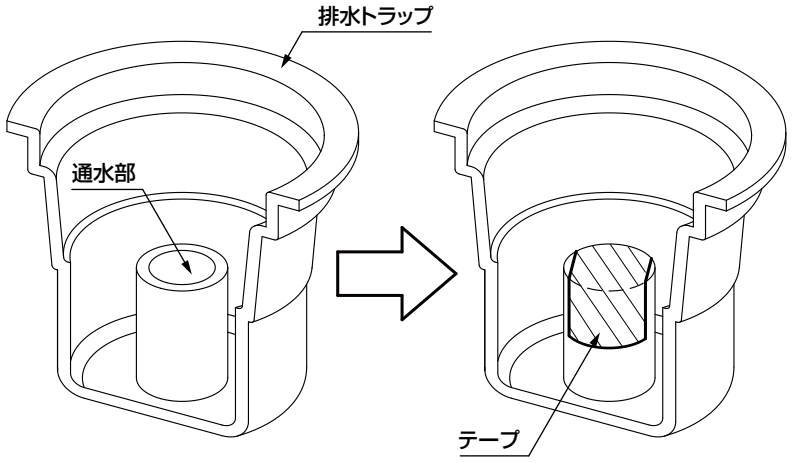
①排水セット取り付け後、排水ホース先端を排水接続部の上になるように仮止めする。（右図参照）

②シンクに水をはり、30 分以上放置し、排水セット接合部に水漏れがないことを確認する。



直管の場合

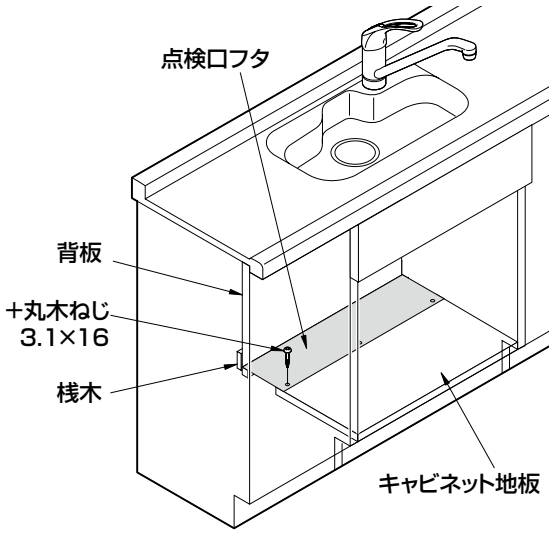
①排水セット取り付け後、アルミテープなど水を透過しにくいテープを用いて、排水トラップの通水部をふさぐ。（右下図参照）
②シンク溢れ縁まで水をはり、３０分以上放置して排水トラップ接続部より水漏れがないことを確認する。
③排水トラップの通水部に貼り付けしたテープを取り除いて水を抜き、配管接続部より水漏れがないことを確認する。
④検査後、テープを完全に取り除き、シンク内に残った水滴を拭き取る。



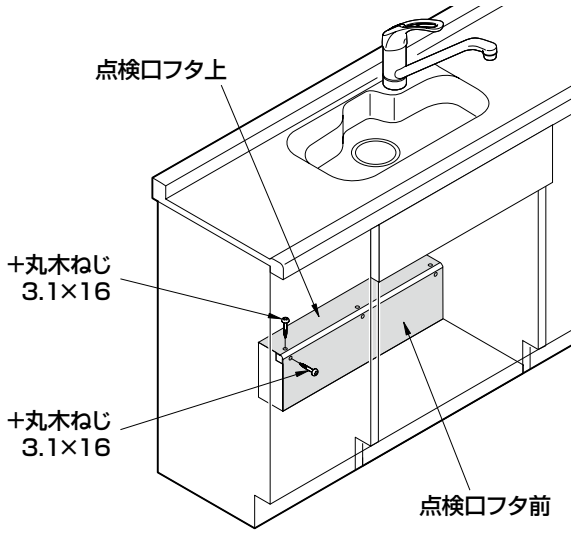
(4) 給水・給湯・排水配管の取り出し

①配管接続前に点検口ふたを外す。

点検口タイプの場合



配管スペースタイプの場合

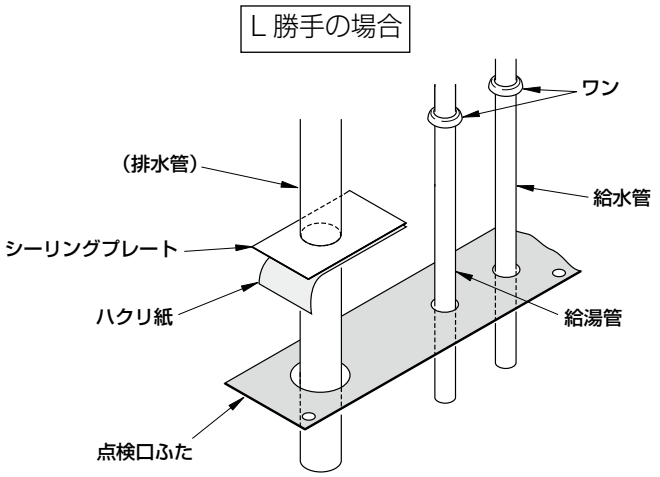


②各配管の取り出し位置に穴加工（背板又は点検口ふた）をおこない、点検口を元の位置に取り付ける。

③点検口を元の位置に取り付ける。
　壁出し配管の場合、点検口ふたの穴開けは不要です。

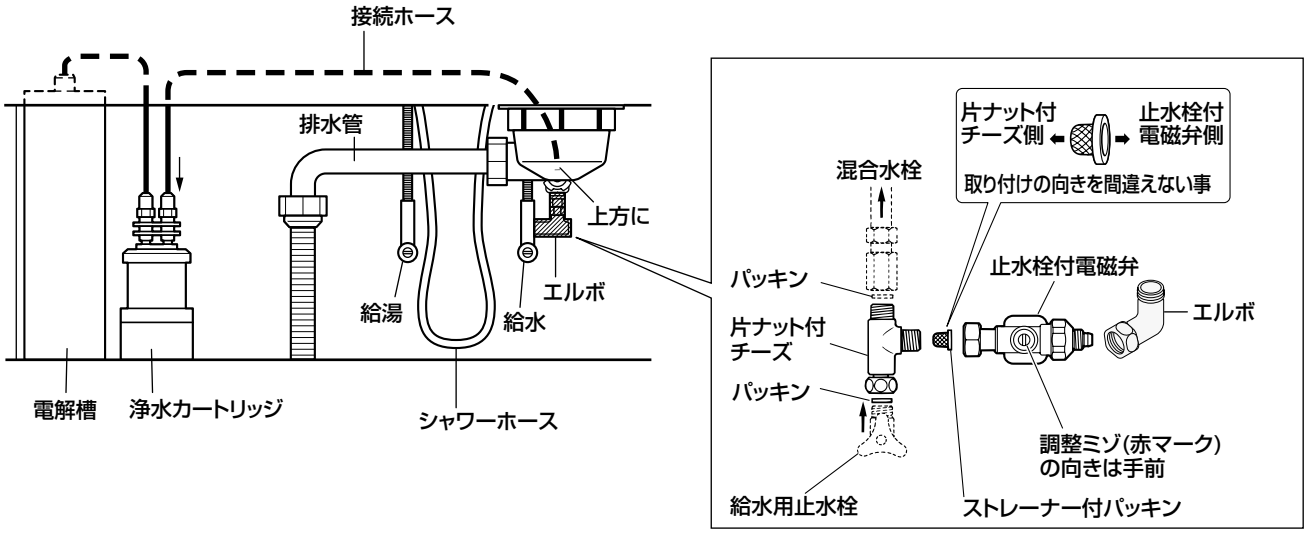
④シーリングプレートを排水管に通す。

⑤排水接続後、ハクリ紙をはがして点検口ふたに貼り付ける。(管工事)



(5) 浄水器および料理用整水器の取り付け

浄水器および料理用整水器の接続ホースが、排水管・シャワーホース等に干渉するため給水側からの分岐にエルボ（別売：品番 Z272NO、品コード OK92044）を取り付けて、上方もしくは前方から接続ホースを取り出します。



扉・引き出し調整

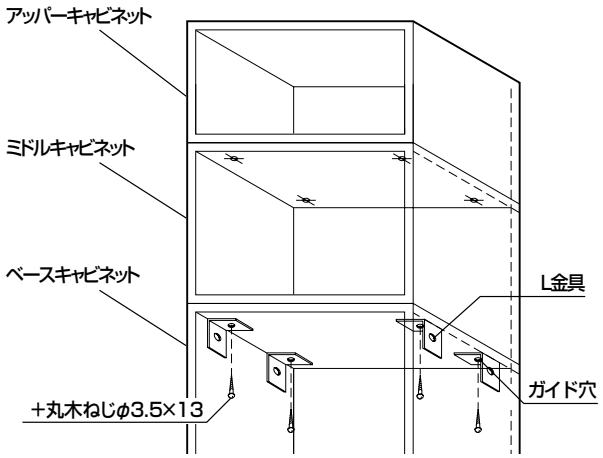
扉・引き出し調整は、巻末資料参照。

単位（mm）

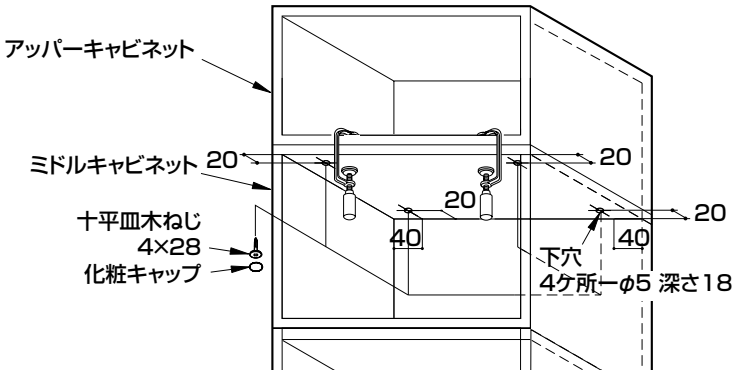
14 カップボード取り付け

(1) 連結

①ベースキャビネットＬ金具のガイド穴から
ミドルキャビネットと連結する。



②ミドルキャビネットの天板に下穴 (4-φ５深さ 18) をあけてアッパーキャビネットと連結する。



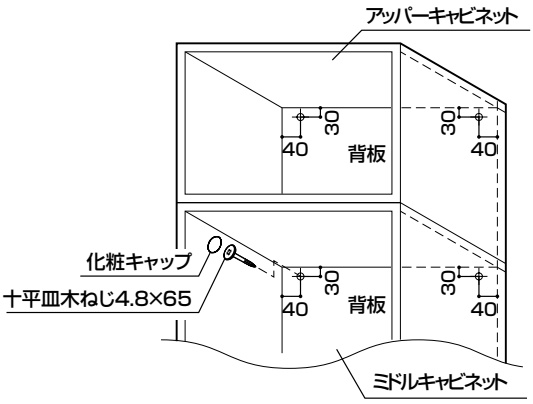
⚠ 注意

禁止　隣接キャビネットにキリを貫通させないこと。

(2) キャビネットの (壁面・サイドパネル) への固定

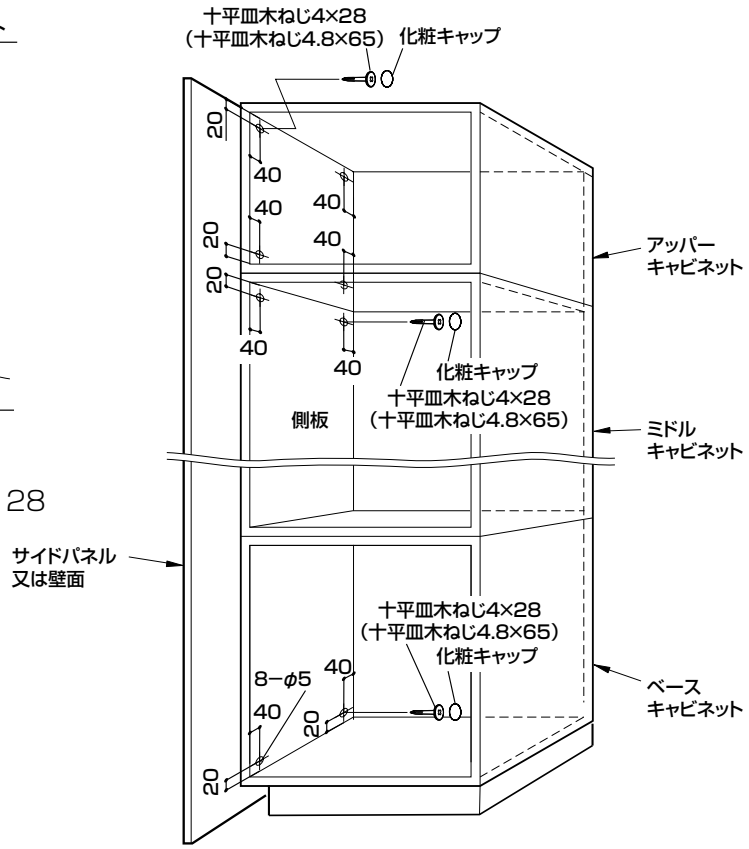
①ガイド穴（4 －φ５貫通穴）をあける。
②ねじでキャビネットを壁面またはサイドパネルに固定し、化粧キャップを取り付ける。

壁面



※壁面は、＋平皿木ねじ 4.8 × 65、
サイドパネルは、＋平皿木ねじ 4 × 28
で固定する。

サイドパネル

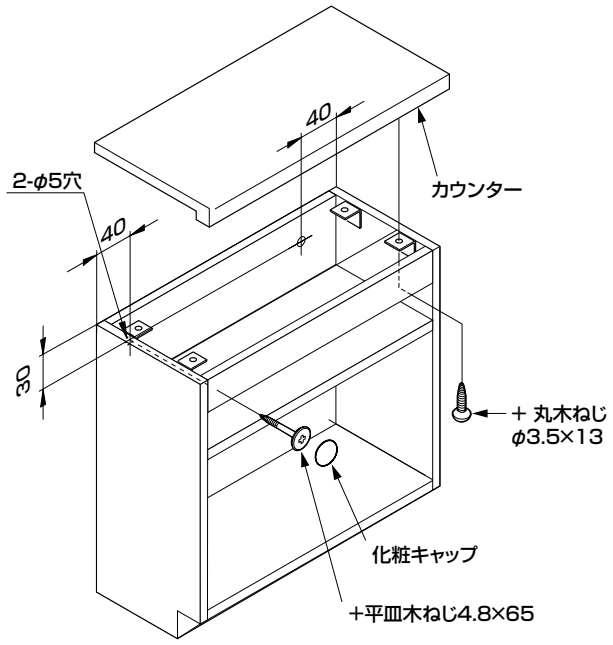


単位（mm）

15 壁付カウンターユニット取り付け

(1) カウンターユニットの壁面固定

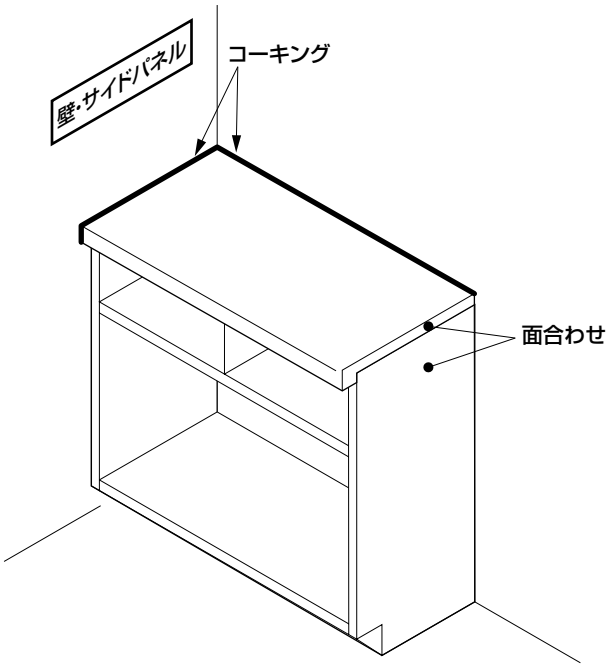
①キャビネットにガイド穴をあけ、壁固定用ねじで壁面に固定する。



②キャビネット上部のＬ金具ガイド穴から天板と固定する。

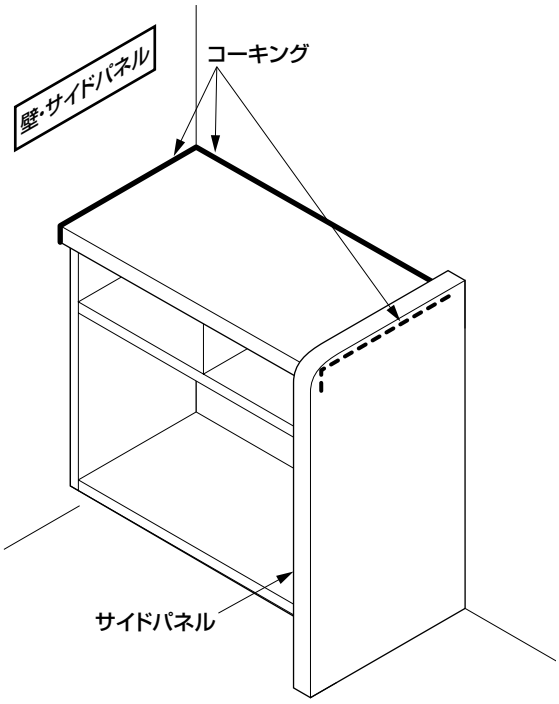
片側がオープンの場合

オープン側のキャビネットとカウンターの側面を合わせて設置し壁等のある側面と後ろ壁の２方にコーキングを行い隙間を埋める。



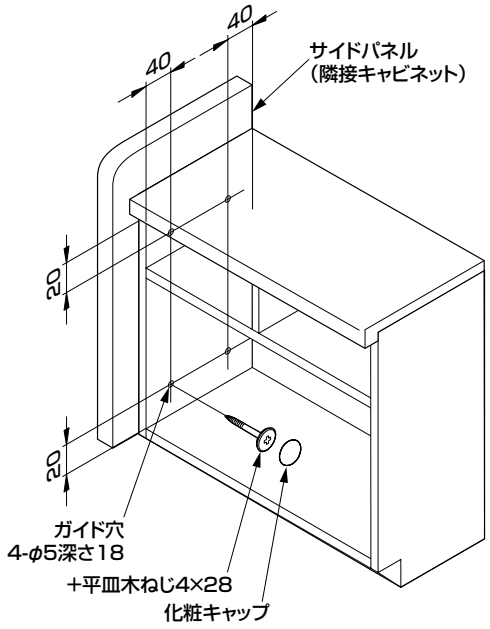
両側がオープンではない場合

両側と後ろ側の３方にコーキングを行い隙間を埋める。



(2) サイドパネル・隣接キャビネットとの連結

①連結する側のキャビネットにガイド穴をあける。
※サイドパネルを固定する場合は、キャビネット側にガイド穴をあける。
②連結用のねじで固定し、化粧キャップを取り付ける。



(3) 引き出しの取り付け

①引き出しと底板を外します。

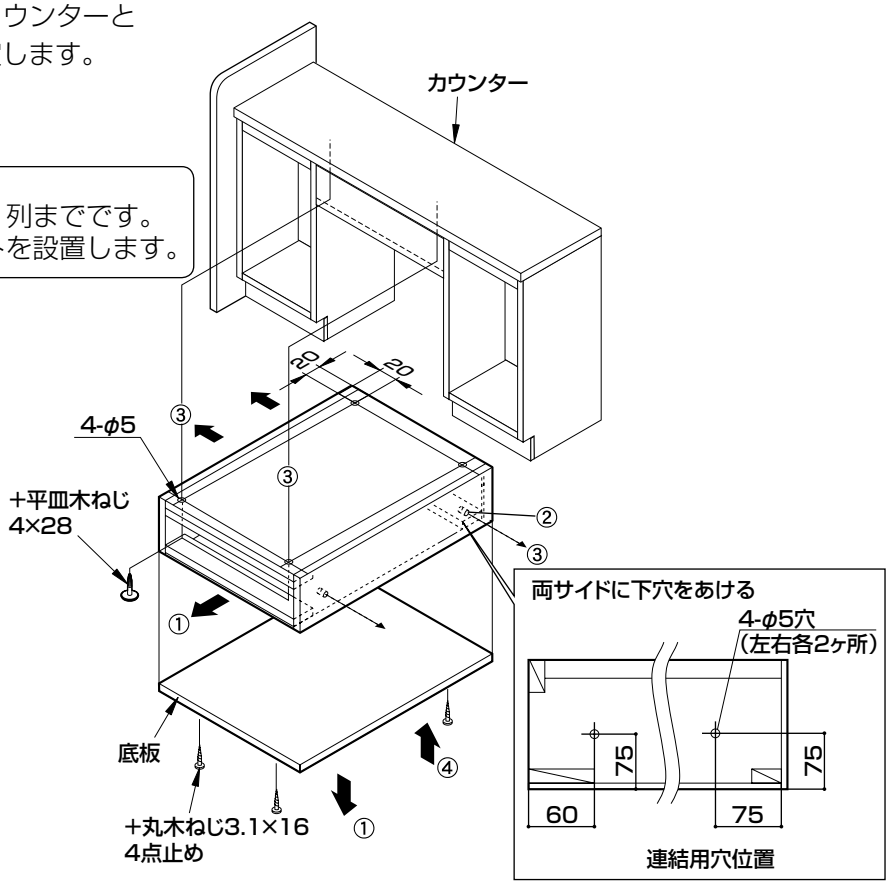
②連結用の下穴をあけます。

③キャビネット内側からカウンターと
隣接キャビネットに固定します。

④底板を取り付けます。

注意事項

※引き出しの横連結は、２列までです。
※必ず両側にキャビネットを設置します。



単位（mm）

16 家電収納キャビネット取り付け

(1) 取り付けの前に

電 気 配 線

※家電収納キャビネットは、AC100V15A 以上の電源容量が必要です。
※一次電源は 2 回線を基本とします。
※あらかじめ電源ケーブルを壁面より引き出しておくこと。（約 1m 程度）
※電源ケーブルは、なるべく引き込み穴位置の付近より引き出すこと。

⚠ 警告

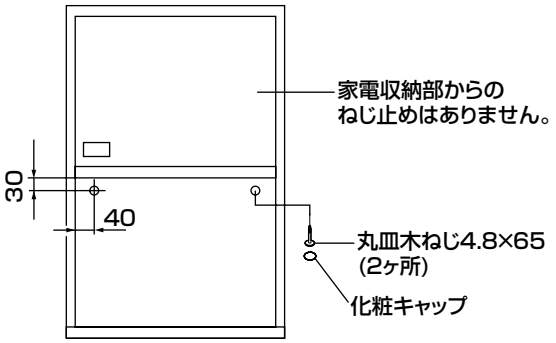
必ずおこなう　電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼する。

必ずおこなう　定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

(2) 家電収納キャビネットの取り付け

(1) 壁への固定

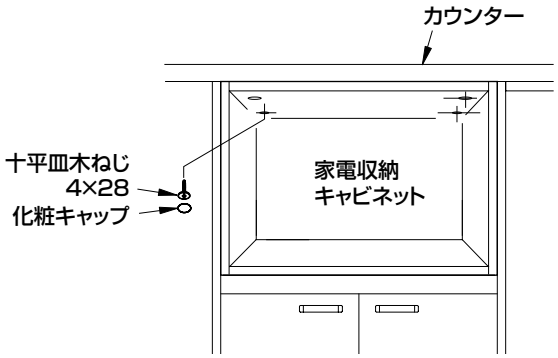
①家電収納キャビネットを壁に押し当てて、丸皿木ねじ 4.8 × 65(2 ヶ所) で取り付ける。
②ねじに化粧キャップを取り付ける。
※家電収納キャビネットからのねじ止めはありません。



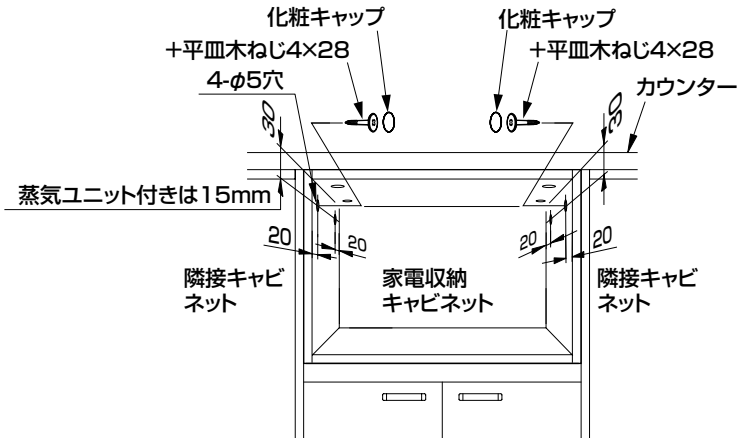
(3) カウンターの固定

①カウンターとキャビネット本体を合わせ、ガイド穴よりねじで固定する。

②ねじに化粧キャップを取り付ける。



(4) 横キャビネットの連結の固定



（5）電源の接続

電源コードの接続はキャビネットに入れ付けの説明書を参照する。

⚠ 注意

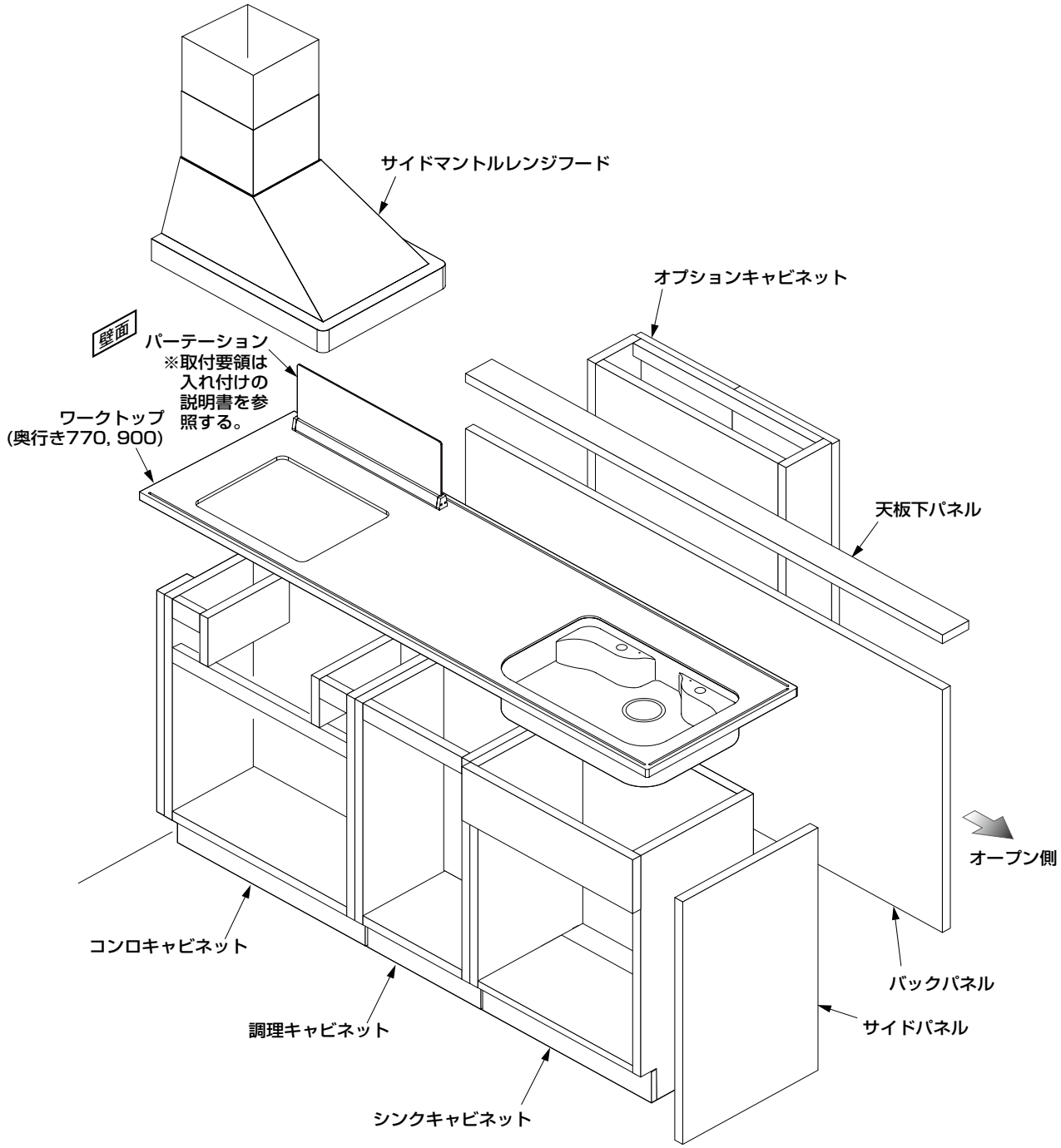
必ずおこなう　電源コード接続とコンセントの取り付けは、電気工事登録業者に依頼する。

（6）蒸気排出ユニットの取り付け（蒸気排出ユニット有りの場合）

※同ユニットに入れ付けの説明書を参照する。

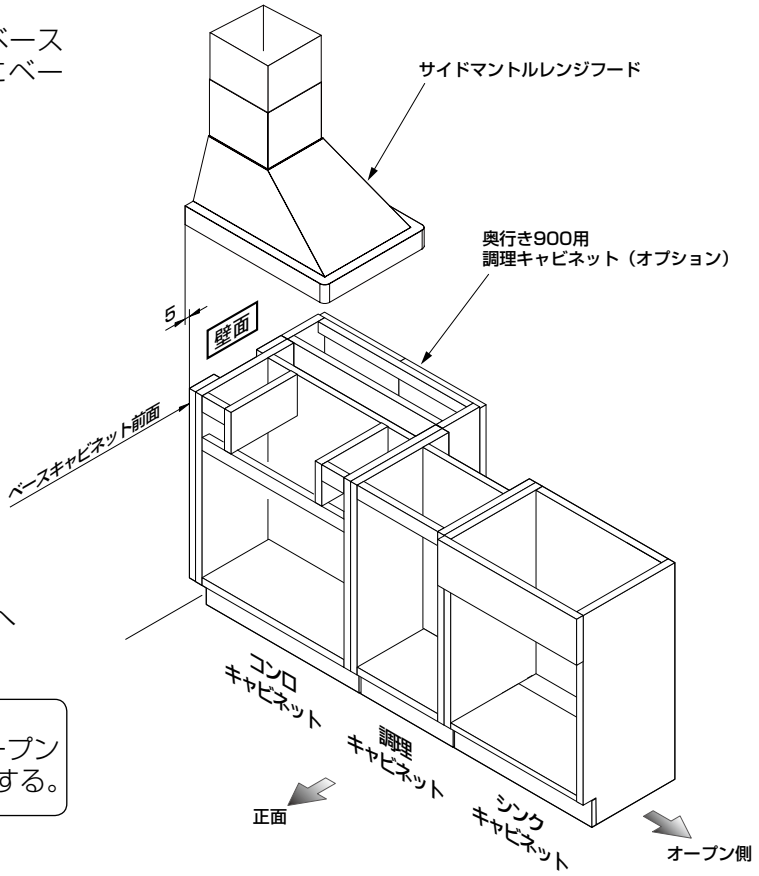
※蒸気排出ユニット固定用金具（蒸気排出ユニットに入り付け）はキャビネットの下穴に合わせて取り付ける。

17 フラット対面タイプ取り付け



(1) キャビネット

①下記の位置 (レンジフードからベースキャビネットの前面を 5mm) にベースキャビネットを据え付ける。



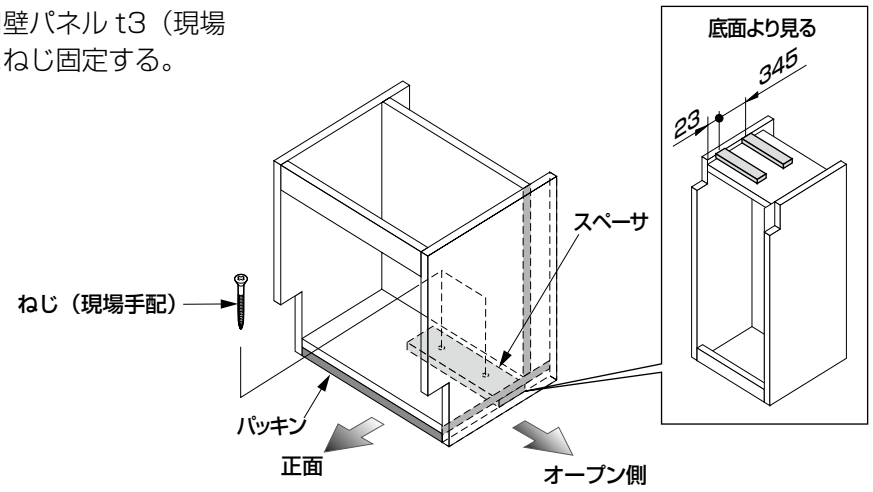
※キャビネット同士の連結・側面への固定は P.12 参照する。

注意事項

シンクキャビネット (または、オープン側のキャビネット) は、床面に固定する。

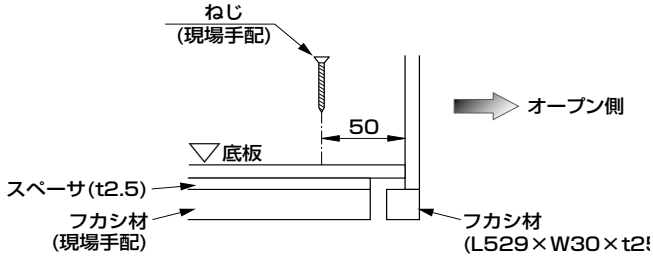
フットスペース仕様の場合

キャビネットを裏返し底板に t2.5 合板（現場手配）もしくはキッチン用壁パネル t3（現場手配）を貼り付け、床面にねじ固定する。



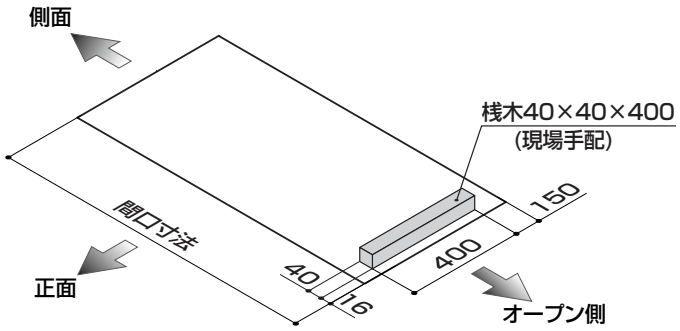
■ 25mm 高さ調整用部材を (フカシ材) を使用する時は、スペーサと共締めして床面に固定する。

※フカシ材の取付要領は、入れ付けの説明書を参照する。

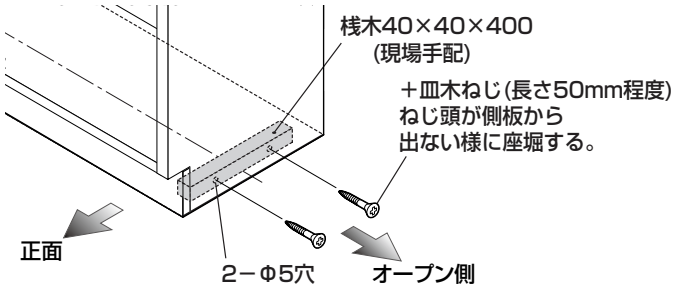


フットスペース仕様以外の場合

桟木 (現場手配) を床面に
取り付ける。



＋皿木ねじ（長さ 50mm 程度 ）
で現場手配にて側板から桟木へ
固定する。その際、ねじ頭が側
板から飛び出さないように座堀
りする。

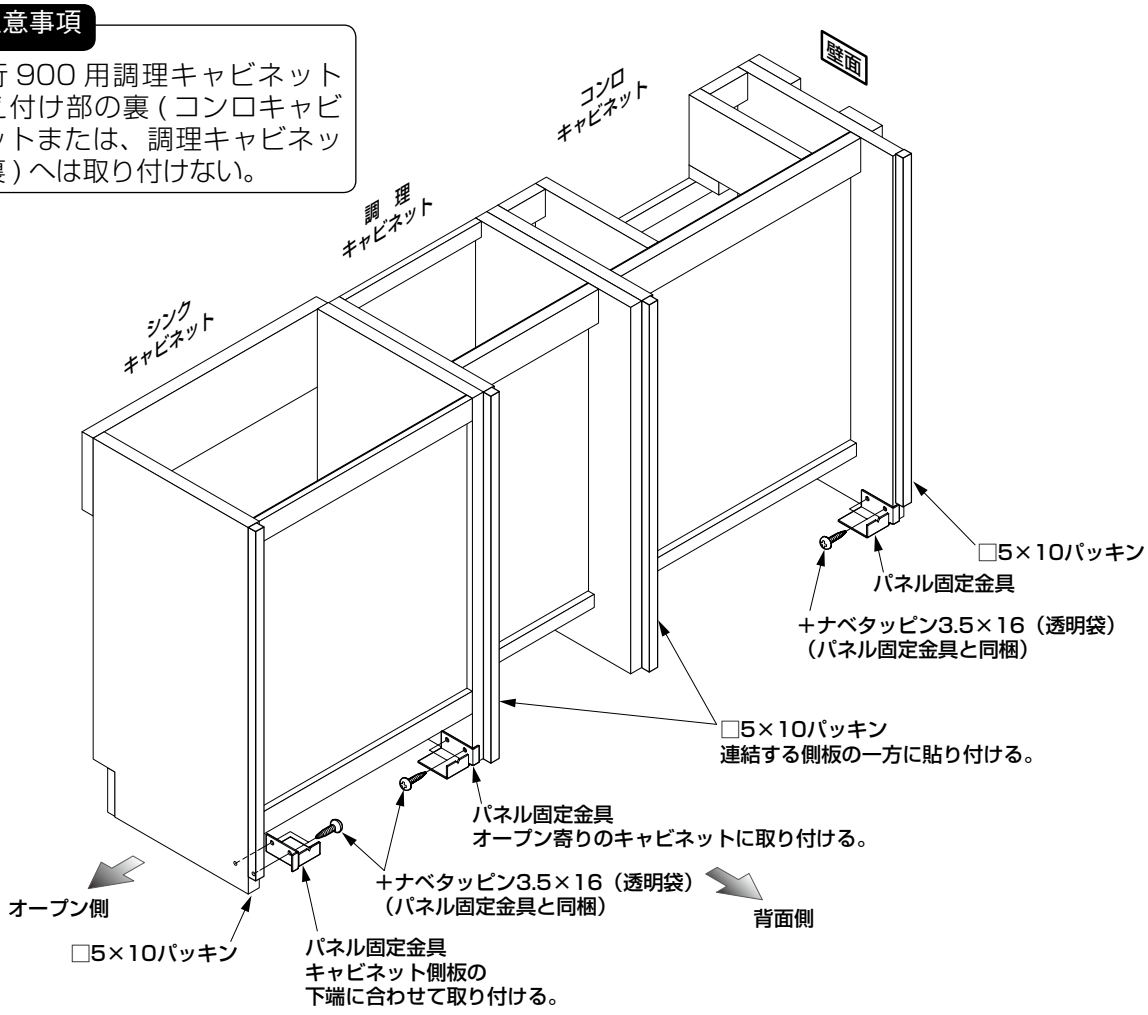


(2) 固定金具・パッキン

①パネル固定金具と、□５× 10 パッキンをキャビネット裏に取り付ける。

注意事項

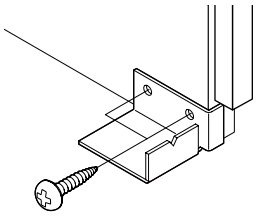
奥行 900 用調理キャビネット据え付け部の裏 (コンロキャビネットまたは、調理キャビネット裏) へは取り付けない。



⚠ 注意

必ずおこなう 床面の水平は、± 1mm 以内に調整する。
レベルがでていないと、バックパネル取付時に、床面とのすき間ができます。

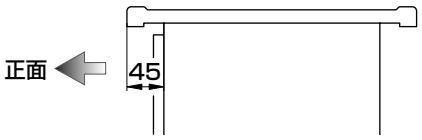
必ずおこなう □５× 10 パッキンは、必ずパネル固定金具上端部で止める事。
下端部まで貼るとバックパネルが垂直に取り付けできなくなります。



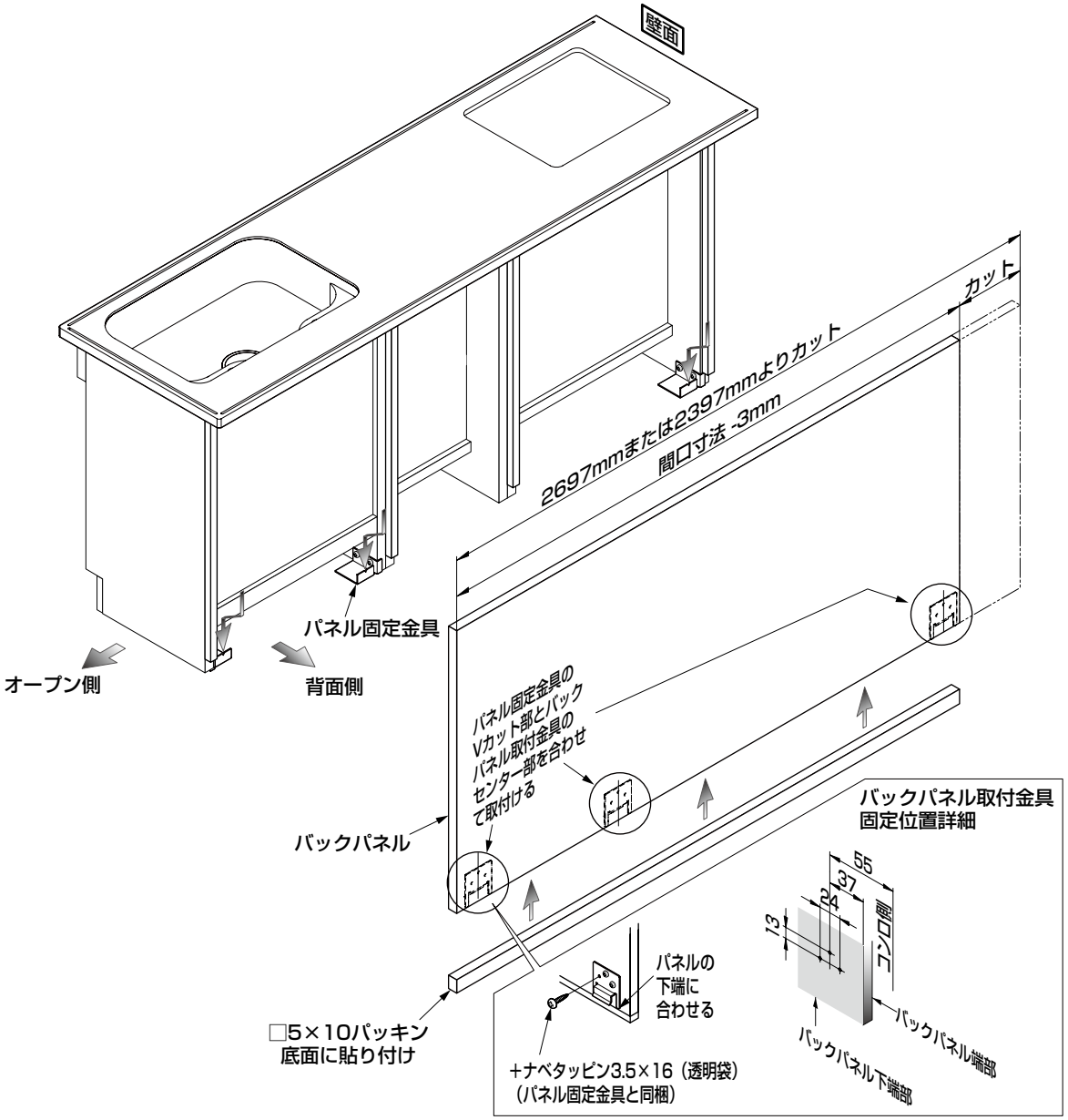
(3) パネル

①ワークトップを取り付ける。(取り付け要領は P.16 参照する。)

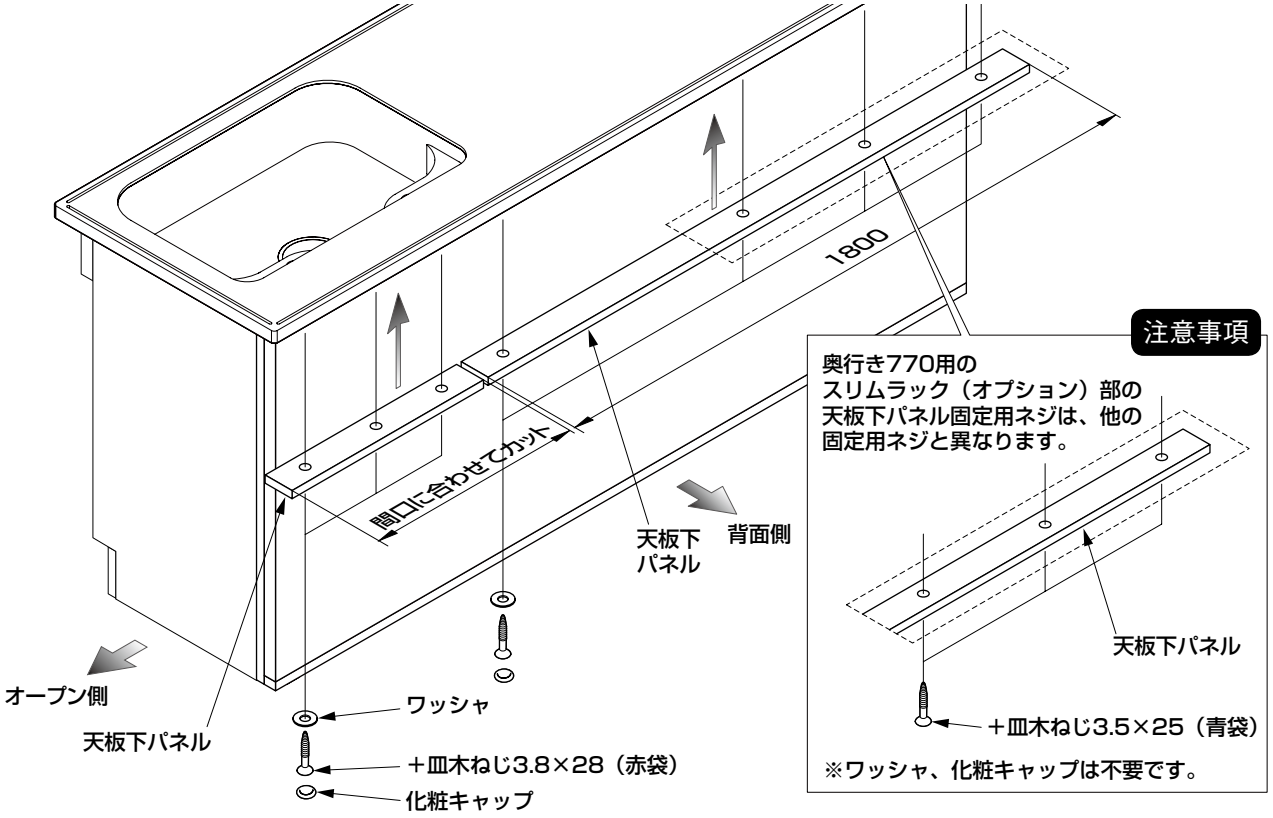
ワークトップ取り付け位置



②バックパネルを間口寸法ー 3mm にカットする。
(キャビネット 間口 2700, 2400 の場合はカット不要)
バックパネル取付金具を取り付け、パネル固定金具に差し込む。



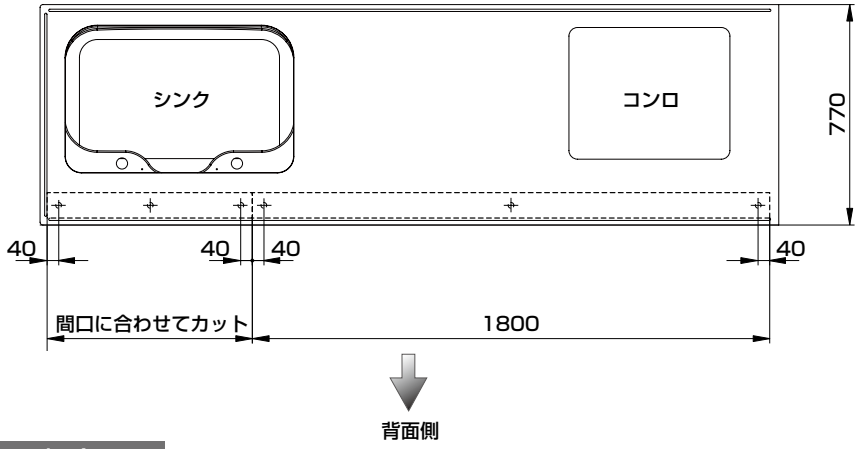
③天板下パネルを固定する。
※奥行 900 用オプションキャビネット部は不要です。



単位（mm）

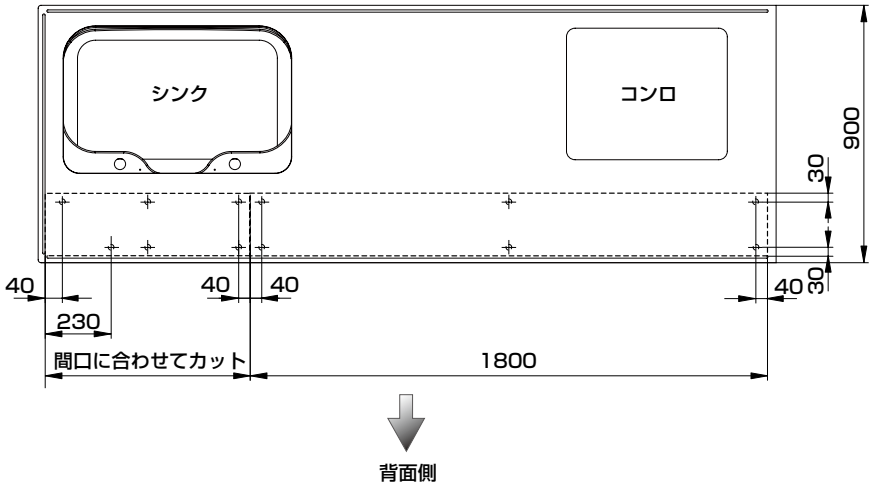
ねじ固定位置< 上から見る>

奥行き 770 の場合

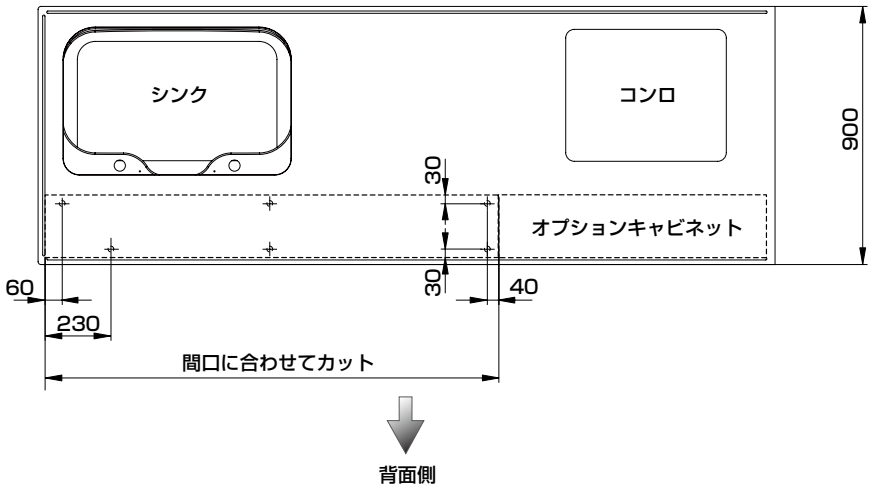


奥行き 900 の場合

<オプションキャビネットがつかない場合>

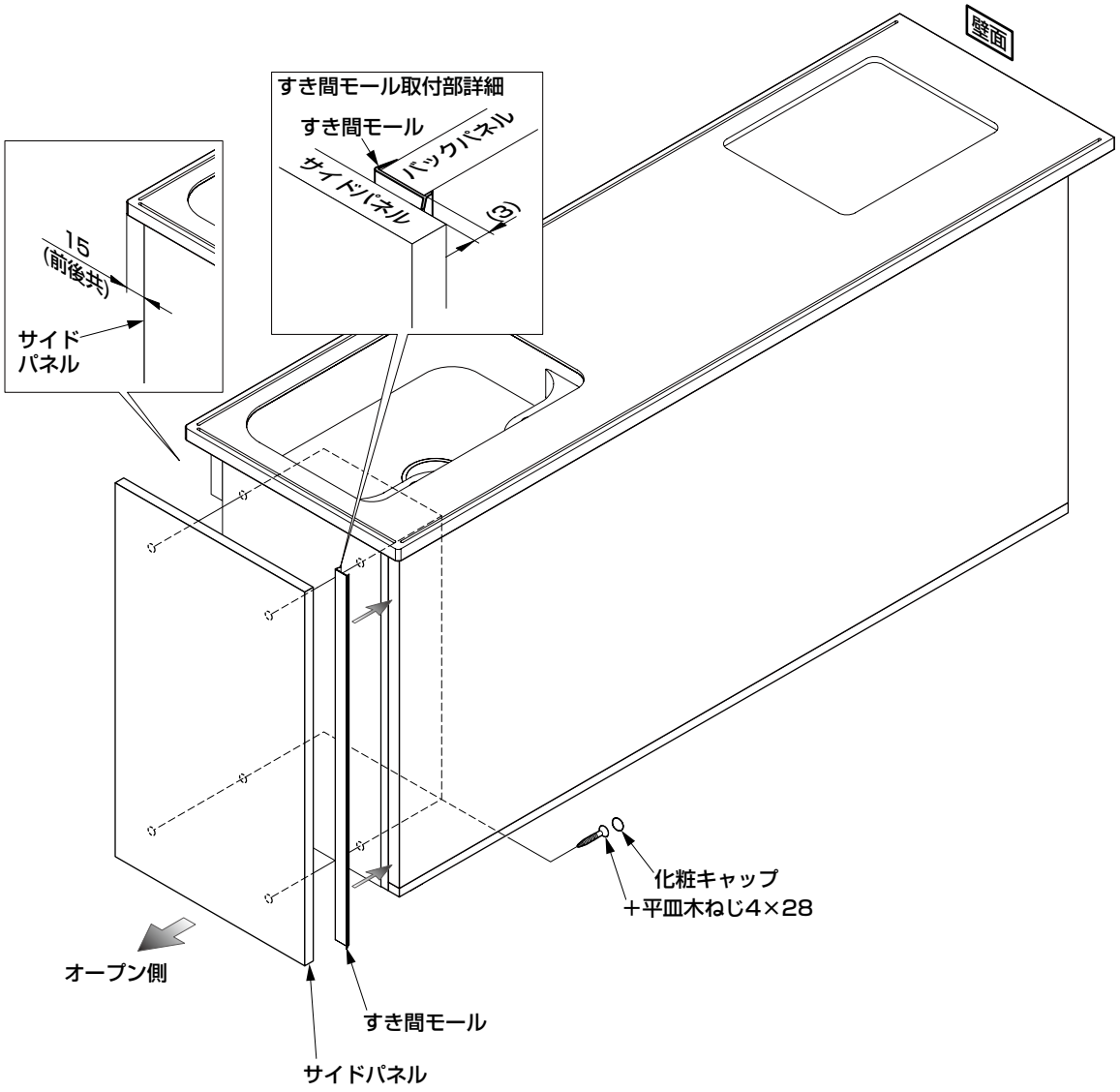


<オプションキャビネットがつく場合>



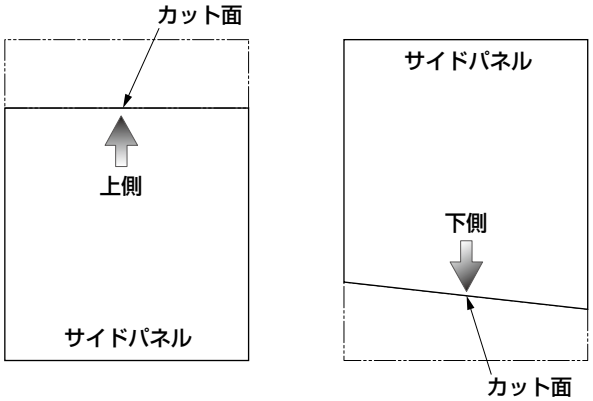
④すき間モールとサイドパネルを取り付ける。

すき間モールをバックパネルにはさみ込んでからサイドパネルを取り付ける。
（サイドパネル取付要領は P.17 参照）



注意事項

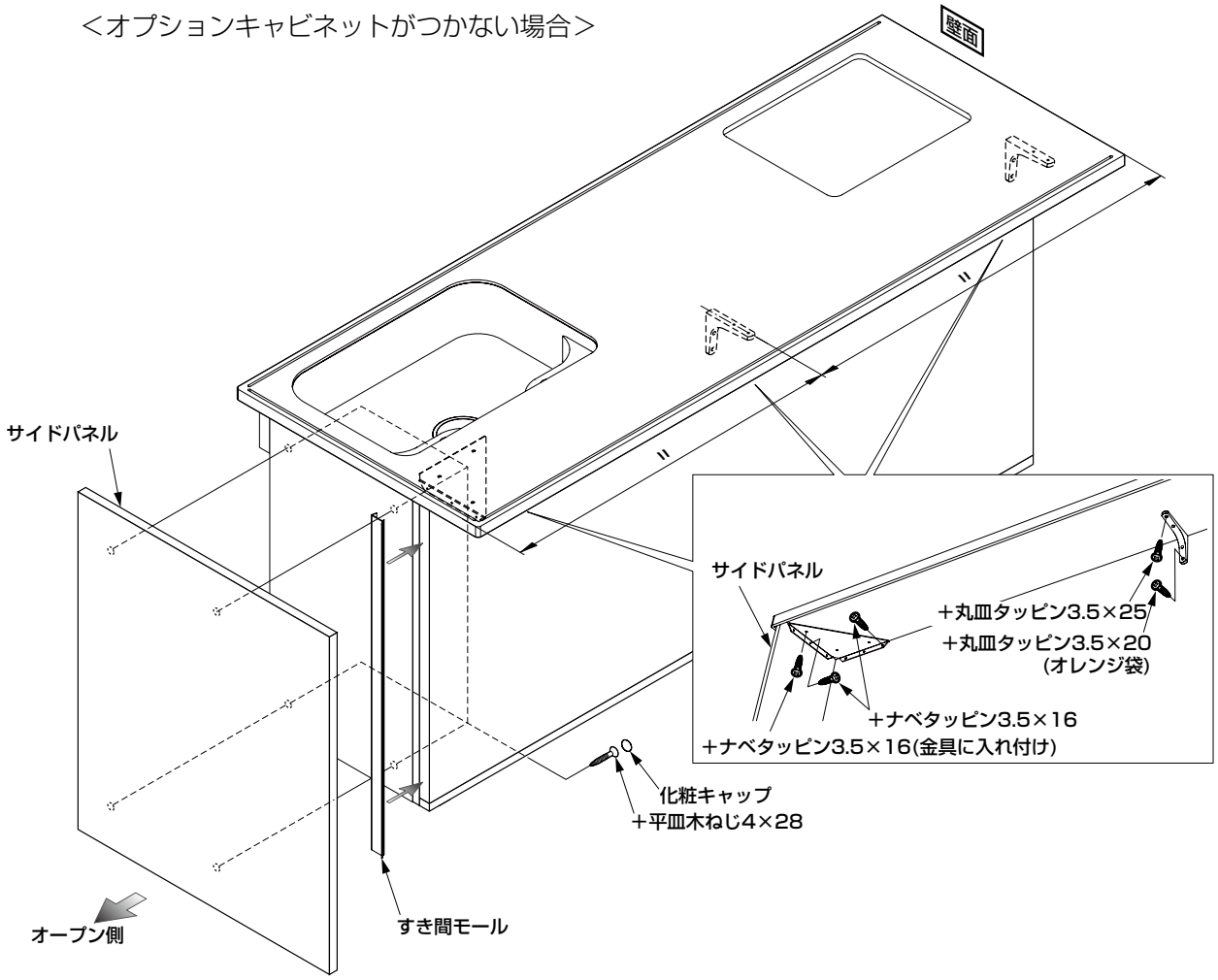
サイドパネルを現場に合わせて高さカットする場合は、カット面を上にする。
床面に合わせてななめにカットする場合は、カット面を下にする。



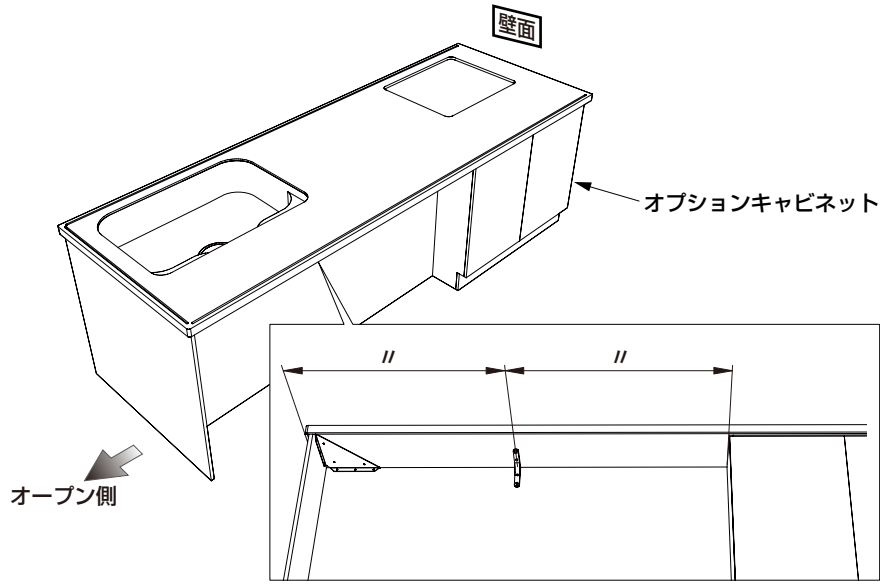
奥行き 900 の場合

① 天板下パネルに支持金具を取り付ける。

＜オプションキャビネットがつかない場合＞



＜オプションキャビネットがつく場合＞

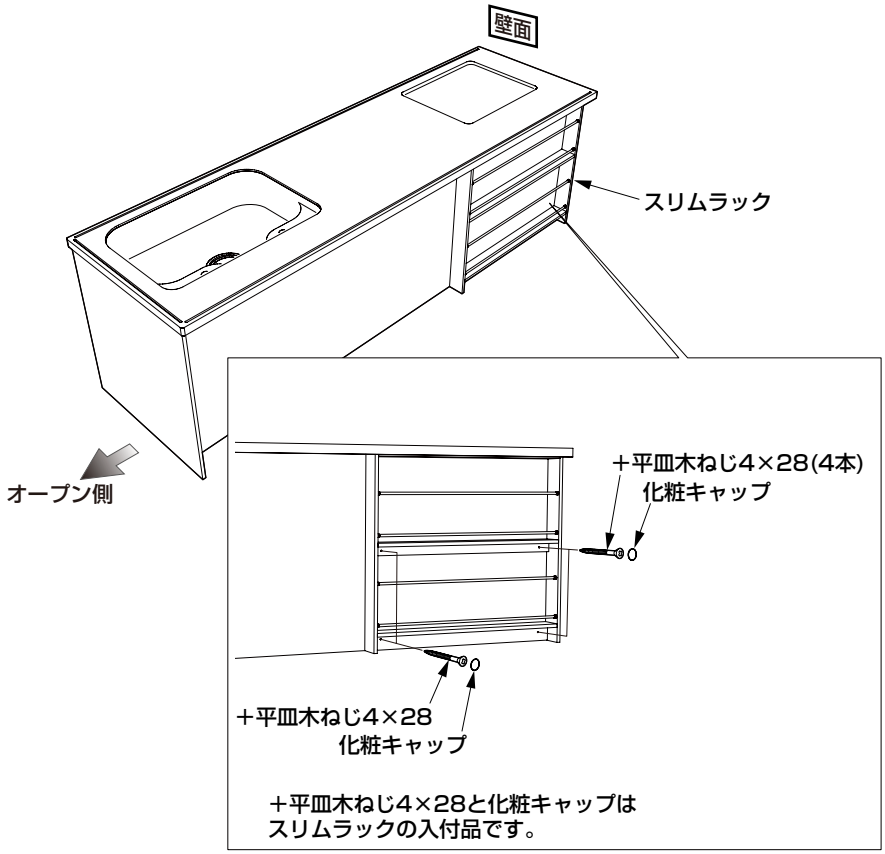


支持金具は均等に取り付けます。

奥行き 770 の場合

①オプションキャビネットの取り付け

入れ付けのねじでバックパネルに固定する。



18 点検・養生

巻末の「取付設置完了報告書」を参照し点検をしてください。

引き渡しまでの間、エアーキャップやダンボール等で養生し、汚れやキズがつかないようにしてください。

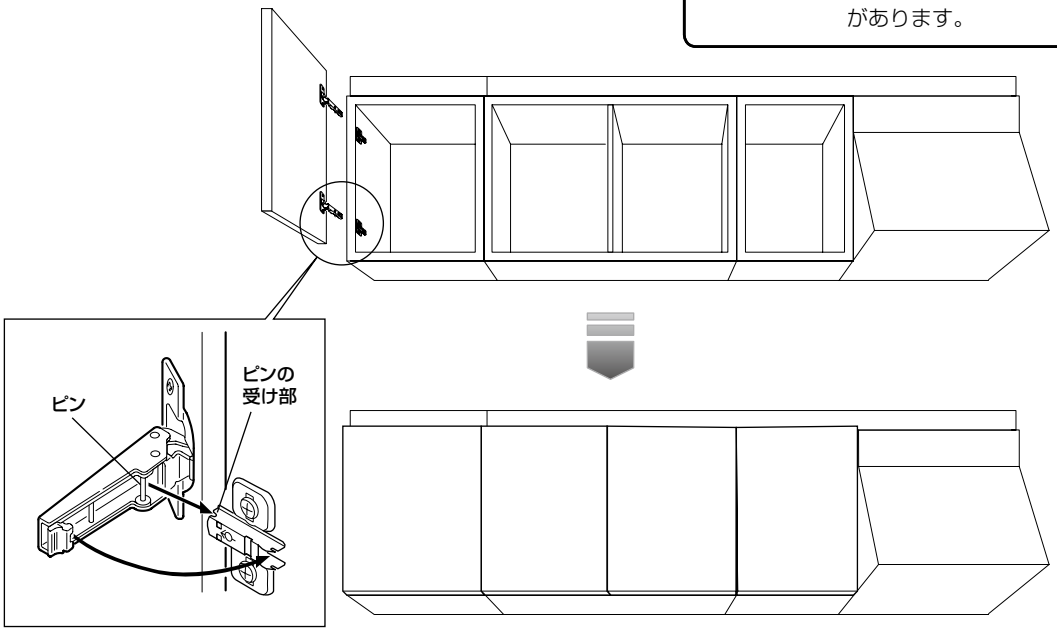
19 巻末資料

(1) 扉の取り付け

蝶番の裏側のピンを、受け部の穴に差込み、レバーを上から「カチッ」と音がするまで押し当てること。

⚠ 注意

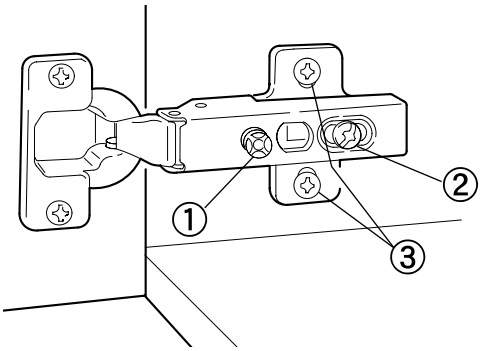
必ずおこなう　扉が確実に取り付けられているか確認する。
扉が外れてけがをするおそれがあります。



(2) 蝶番の調整

①蝶番を調整する。

標準蝶番の場合



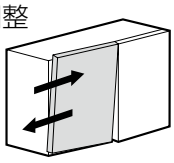
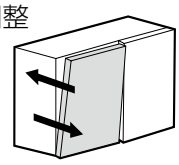
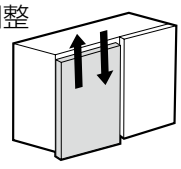
注意事項

扉にずれや歪みがないこと。
目地を合わせること。

⚠ 注意

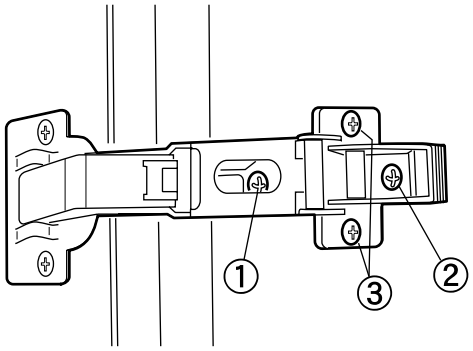
禁止　①②③以外のねじには絶対触れない。
扉が外れてけがをするおそれがあります。

必ずおこなう　調整後、必ず②③のねじを締め付ける。
②③のねじをゆるめたままにすると、扉が外れてけがをするおそれがあります。

調整の種類	左右調整	前後調整	上下調整
			
	〈扉の目地が揃っていない〉	〈扉が前後に傾いている〉	〈扉が上下に片寄っている〉
調整方法	①のねじで調整します。右に回すと外方向に、左に回すと内方向に動きます。	②のねじをゆるめ、扉の位置を調整します。調整後、ねじを固く締め付けます。	③のねじをゆるめ、扉の位置を調整します。調整後、ねじを固く締め付けます。

単位（mm）

コーナー蝶番の場合

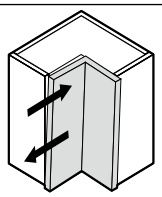
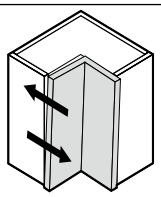
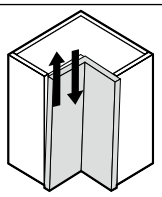


注意事項

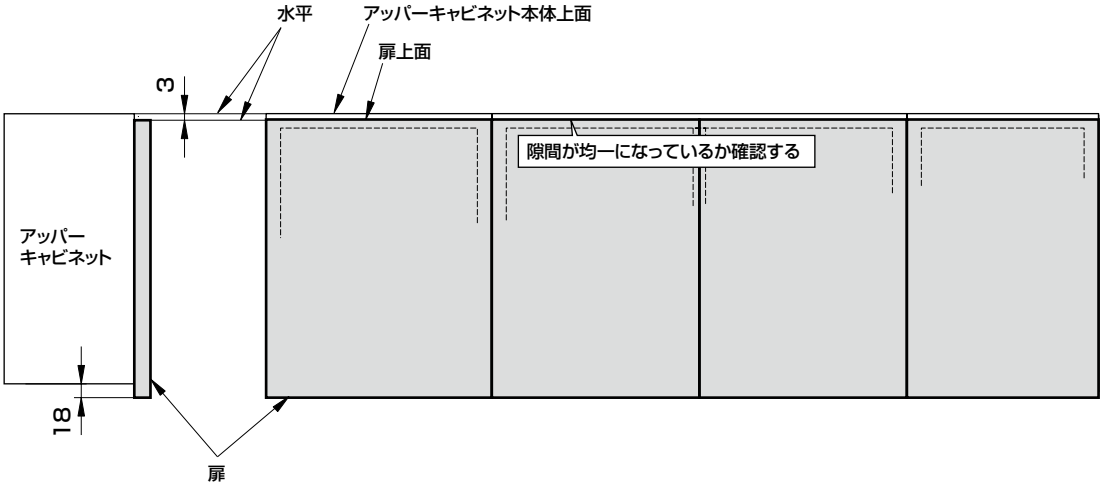
扉にずれや歪みがないこと。
目地を合わせること。

⚠ 注意

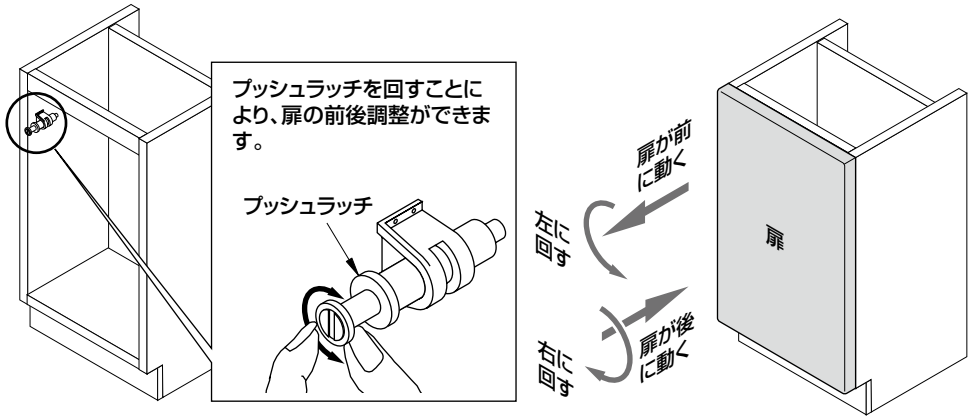
禁止　①②③以外のねじには絶対触れない。
扉が外れてけがをするおそれがあります。

調整の種類	左右調整  〈扉の目地が揃っていない〉	前後調整  〈扉が前後に傾いている〉	上下調整  〈扉が上下に片寄っている〉
調整方法	①のねじで調整します。右に回すと外方向に、左に回すと内方向に動きます。	②のねじをまわし、扉の位置を調整します。	③のねじをゆるめ、扉の位置を調整します。調整後、ねじを固く締め付けます。

扉の取り付け位置



(3) プッシュラッチ



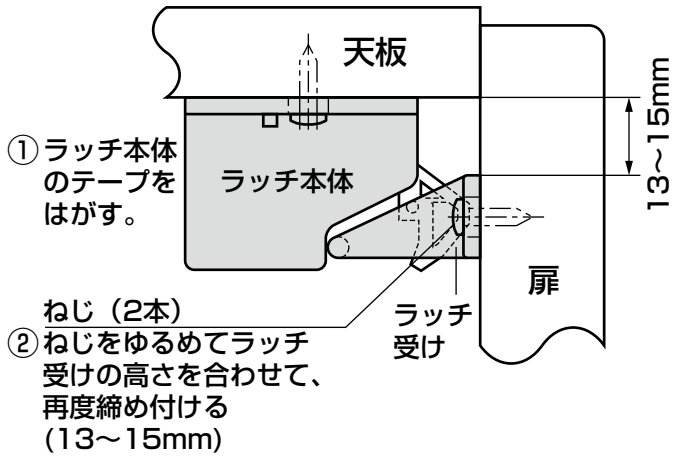
(4) ロック機構付アッパーキャビネット

※キャビネットが傾くと、ロック機構が作動し , 扉が開かなくなります。

ロック機構のチェック（正常に作動させるために）

※キャビネット天板下面とラッチ受けのすき間が 13 ～ 15mm の位置で固定する。

正しく調整されていないと、ロック機構が作動しなかったり、扉が開かなくなることがあります。



ロックの解除方法

キャビネットが水平状態に戻ると解除されます。

⚠ 注意

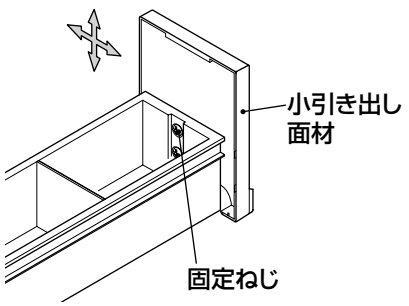
禁止
ロック機構が作動した状態で無理に扉を開けない。
扉やキャビネット・ロック機構が破損するおそれがあります。

必ずおこなう
扉は正しい取り付け位置に調整する。キャビネットは必ず水平、垂直のレベルを確認し、正しく取り付ける。
ロック機構が正しく作動しないおそれがあります。

(5) 引き出し扉調整

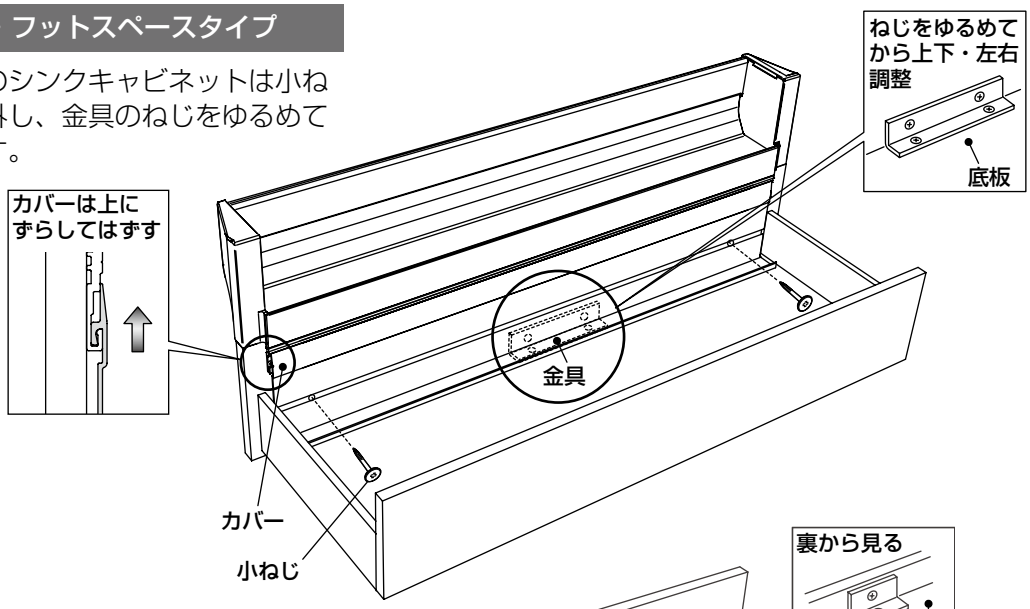
コンロ小引き出し

上下・左右の調整
①固定ねじ（2 ヶ所）をゆるめる。
②上下・左右に動かして調整後、締め込む。

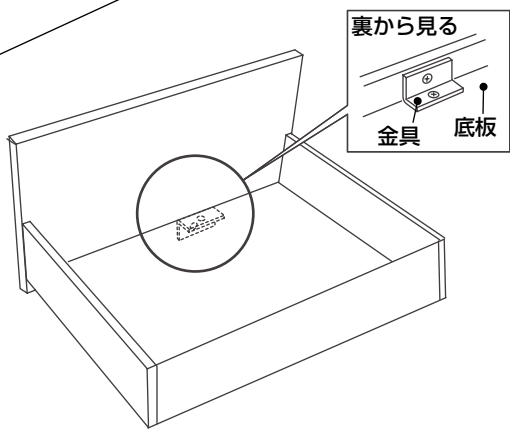


らくポケ・フットスペースタイプ

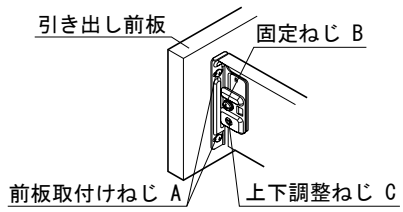
らくポケ仕様のシンクキャビネットは小ねじとカバーを外し、金具のねじをゆるめてから調整します。



その他の引き出しキャビネット (W600 以上) は、底板裏側金具のねじをゆるめてから調整します。



●メーターボックスタイプ (上段・中段)



⚠ 注意

禁止

前板取付ねじ A は、締め付けすぎない。

ねじが効かなくなるおそれがあります。
※ねじが効かなくなった場合は、ねじ穴を木片等で埋めてから取り付けてください。

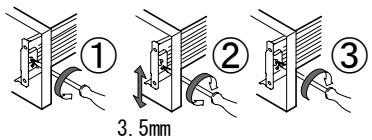
必ずおこなう

調整後は固定ねじ B を必ず締め付け、前板を固定する。

B のねじがゆるんだままにしておくと、前板がぬけ落ちるおそれがあります。

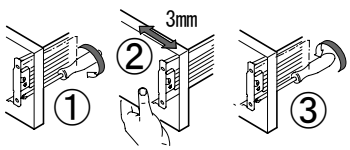
上下調整

固定ねじ B をゆるめ、上下調整ねじ C で前板の上下の傾きを調整する。調整後、固定ねじ B を締める。



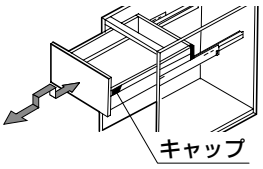
左右調整

前板取付ねじをゆるめ、前板の左右のずれを調整する。調整後、前板取付ねじ A を締める。

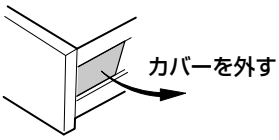


●タンデムレールタイプ（下段）

引き出しを取り付ける時は、両サイドのレールに載せ、軽く持ち上げて、ストッパーに引っかからないようにして、そのまま挿入します。

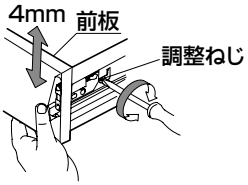


引き出し横のカバーを取り外す。



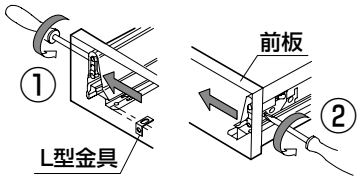
上下調整

調整ねじを回転させ、前板の上下のずれを調整する。



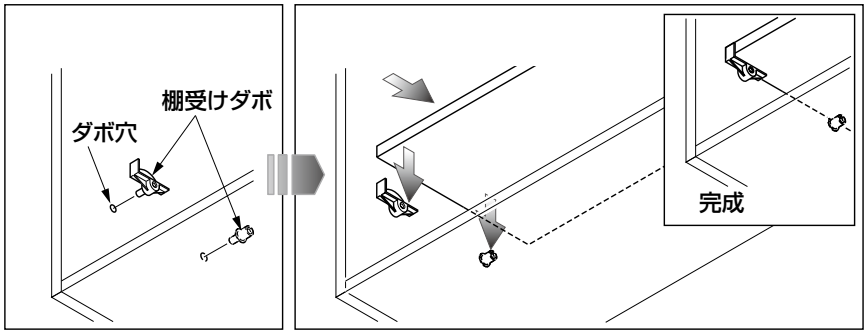
左右調整

左右調整ねじで、前板の左右のずれを調整する。



(6) 棚板の取り付け

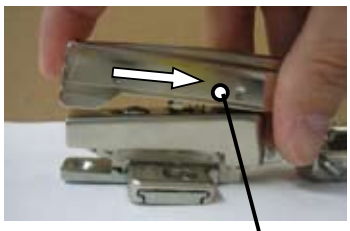
※棚板の取り外しは、取り付けと反対になります。



(7) 開き扉用ソフトクローズ金具の取り付け

静音金具の裏にある茶色の爪を蝶番の取り付け穴の手前にあて上から押す。

①

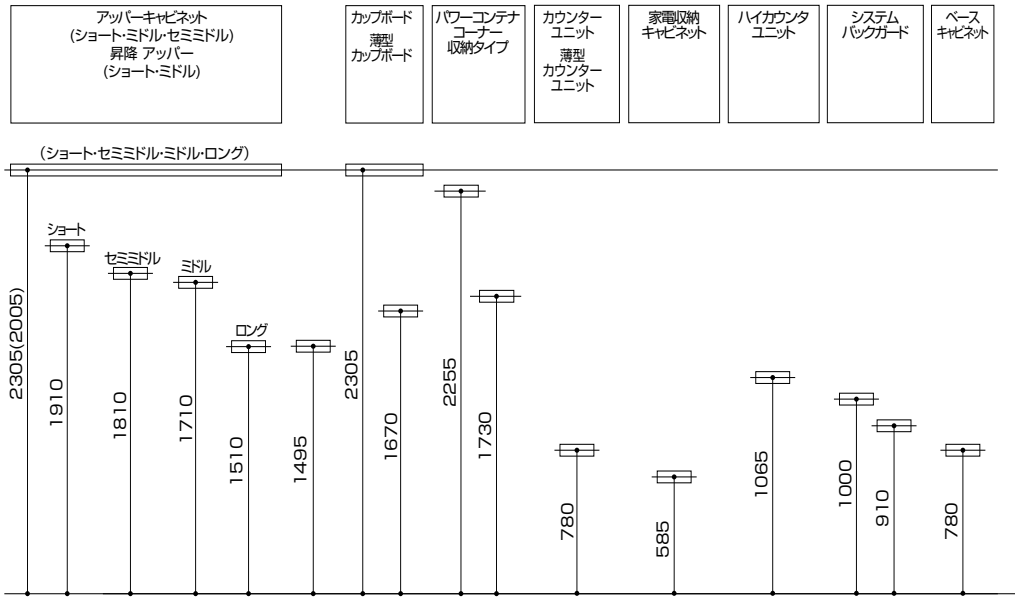


②完了

※しっかり固定されていることを確認する

取付桟の位置

※天井高さ・ワークトップ高さに合わせて変更してください。



標準取り付け高さ　アッパーキャビネット上端 H＝2350　ワークトップ高さ H＝850 の場合
（　　）内の取付桟の位置は、梁欠きアッパーキャビネットの場合

基本設置モジュール